「生活環境の満足度および自治会をはじめとした地域への要望調査」アンケート結果分析

沖縄国際大学　沖縄経済環境研究所
地域連携グループ
沖縄国際大学
名嘉座　元一
平敷　卓
金城　敬太
比屋根　良直
宜野湾市　市民経済部　市民生活課
村本　雄一郎

【主な結果】

アンケート設問のすべての集計結果は４で記述するが、ここでは市内在住者への本アンケートを実施した当初の問題設定にもとづき以下の４つのテーマについてアンケート集計を踏まえて述べることとする。

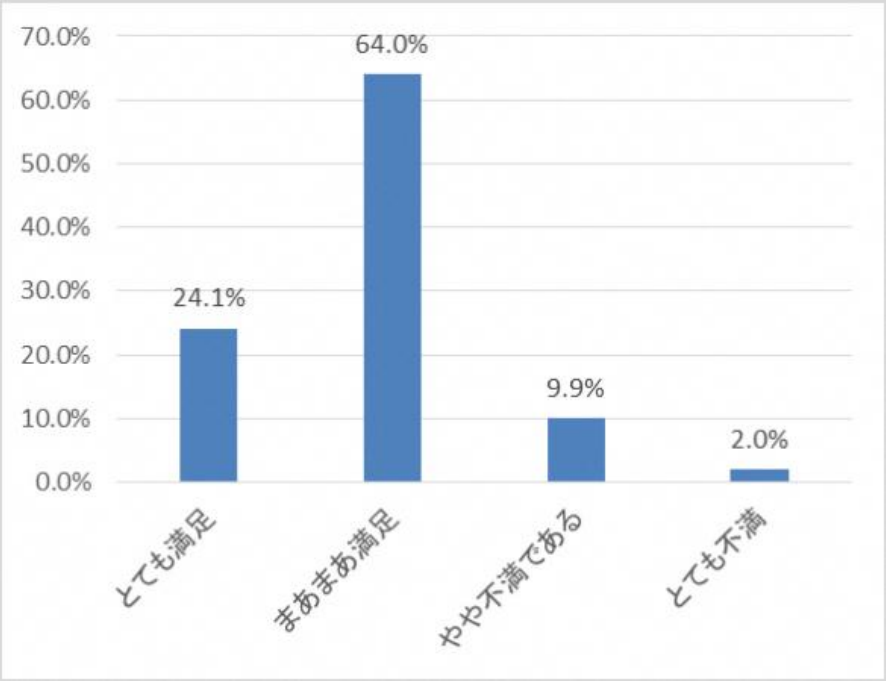
＊テーマ
①市民ニーズ、②自治会に加入していない人の特性、③加入促進のためのニーズ
④自治会活動の今後の取り組み

（１）市民ニーズについて

ア　住んでいる地域への満足度

「とても満足」と「まあまあ満足」と答えた回答者が 88.1%で、高い満足度となっている。

その一方で「やや不満である」と「とても不満」を合わせて 11.9%と約１割の人が何らかの不満を持っていることも留意しなければならない。



イ　住み続けたい意向について

「しばらくは住みたい」が 48.7%と最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が 40.3%となっている。

	人	構成比
しばらくは住みたい	696	48.7%
ずっと住み続けたい	576	40.3%
市外へ引っ越したい	68	4.8%
市内の別の地域へ引っ越したい	89	6.2%
回答者の総計	1429	100.0%

これを、年齢別にみたのが次表である。ずっと住み続けたいは 20 代が 21.6%であるが、60 代では 61.3%と年代が上がるにつれて高くなる傾向にある。

これは年代が上がるにつれて長く住んでいると推察され、地元意識が強くなることを反映していると考えられる。

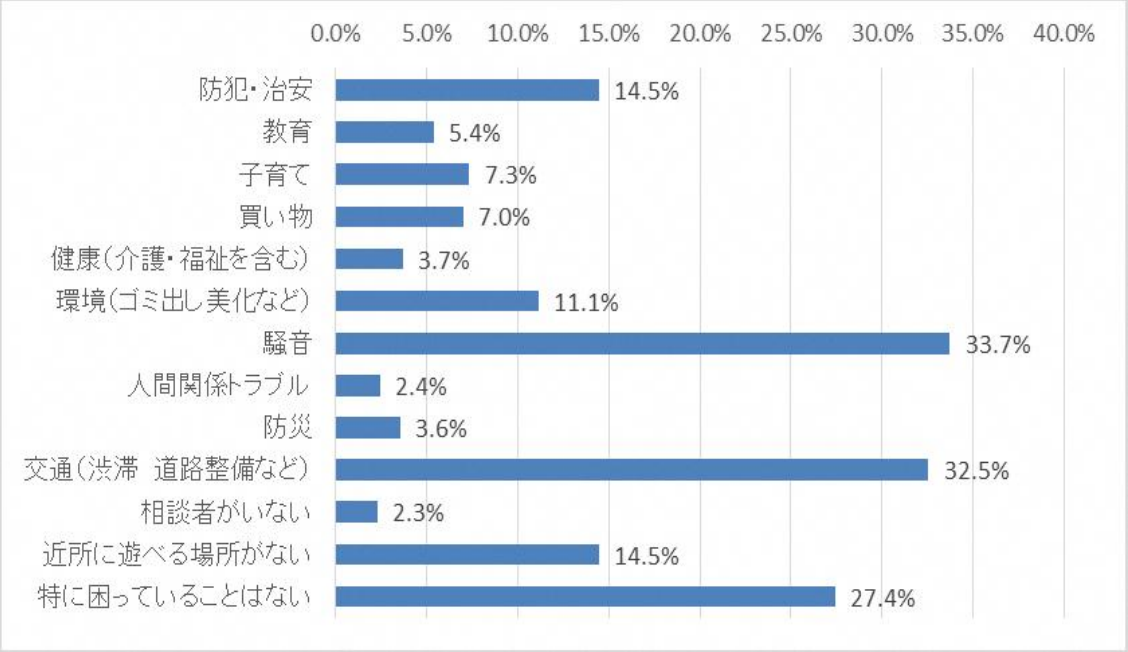
20 代では市内外へ「引っ越したい」が多く、この世代は流動層といえよう。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
しばらくは住みたい	4	165	213	168	84	52	10	696
ずっと住み続けたい	1	57	123	148	113	95	39	576
市外へ引っ越したい	4	19	15	12	11	5	2	68
市内の別の地域へ引っ越したい	1	23	26	18	16	3	2	89
総計	10	264	377	346	224	155	53	1429
	構成比							
しばらくは住みたい	40.0%	62.5%	56.5%	48.6%	37.5%	33.5%	18.9%	48.7%
ずっと住み続けたい	10.0%	21.6%	32.6%	42.8%	50.4%	61.3%	73.6%	40.3%
市外へ引っ越したい	40.0%	7.2%	4.0%	3.5%	4.9%	3.2%	3.8%	4.8%
市内の別の地域へ引っ越したい	10.0%	8.7%	6.9%	5.2%	7.1%	1.9%	3.8%	6.2%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ウ　住んでいて困っていること

困っていることについては、「騒音」が 33.7%と最も多く、次いで「交通」の 32.5%となっている。この２つが市民が日常生活で感じる負の大きな要因となっている。

それ以外には、「防犯・治安」（14.5%）、「近所に遊べる場所がない」（14.5%）、「環境」（11.1%）が困っている割合が高い項目として挙げられる。



（２）どんな人が自治会に加入していないのか

自治会に未加入の人に焦点を当てどのような人が自治会に加入していないのかを検討した。

まず、自治会に加入の有無についてだが、加入している人の割合は 40.4%と宜野湾市の平均自治会加入率 27.3%（平成 29 年 6 月）に比べるとかなり高い結果となっている。

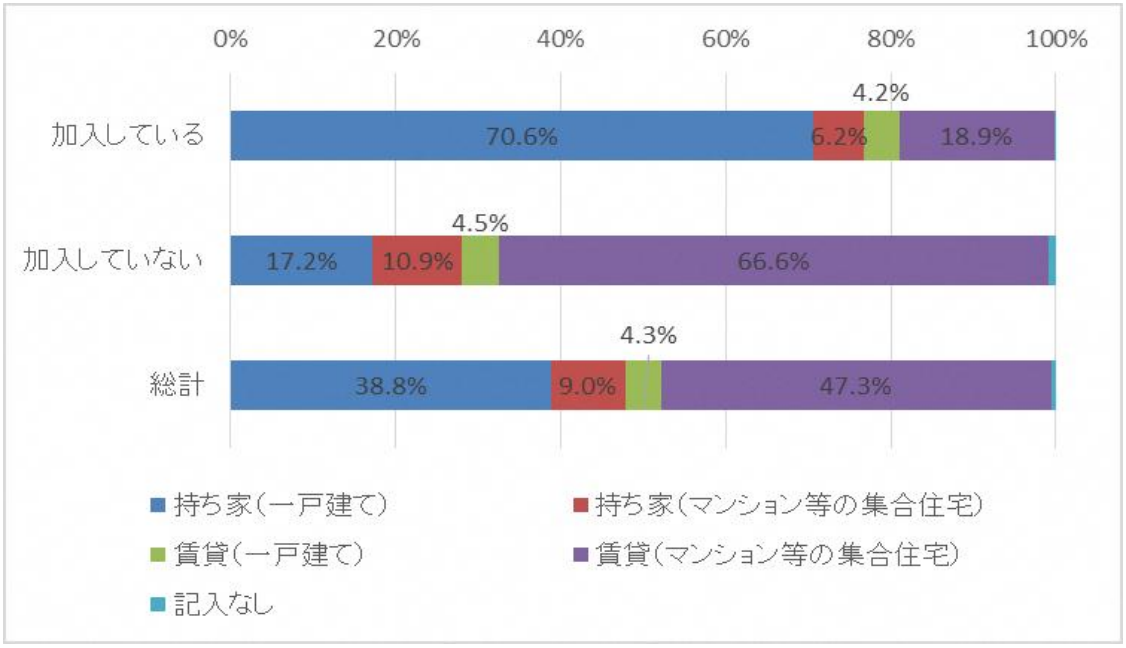
	人数	構成比
加入している	578	40.4%
加入したことがない	813	56.9%
加入していたけどやめた	38	2.7%
総計	1429	100.0%

これを年齢別にみたのが次図である。ここでは、「加入していたけどやめた人」は「加入していない」に含めた。

「加入している人」は、40 代以上が多く、40 代 26.6%、50 代 21.8%、60 代 19.7%となっている。これに対して「加入していない人」は 20 代、30 代が中心で 20 代 25.5%、30 代 33.7%である。50 代以上の割合は少なく、未加入者は若い世代が多いことが分かる。

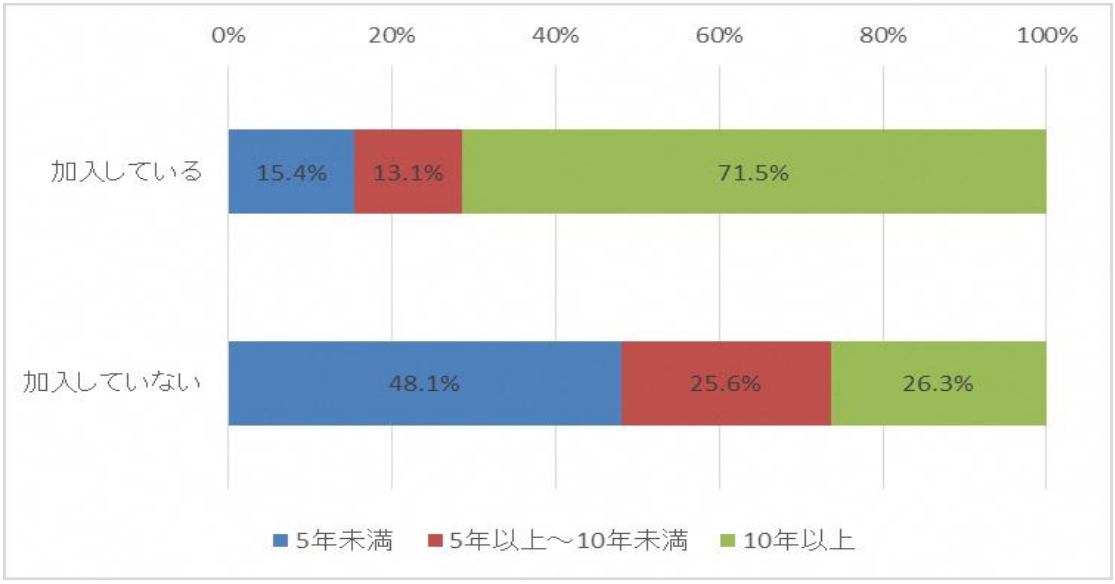
住居形態で見ると、加入していない人の 7 割弱は「賃貸（マンション等の集合住宅)」（66.5%）「賃貸（一戸建て)」（4.5%）となっている。未加入者は若い世代が多いことから一戸建ての持ち家の割合が低いものと考えられる。

住居形態



居住年数を見たところ、加入していない人は、「5 年未満」が最も多く（48.1%）、約半数近い。上で見たように住居形態は「賃貸」が多いことからこのような傾向が見られるのであろう。

居住年数

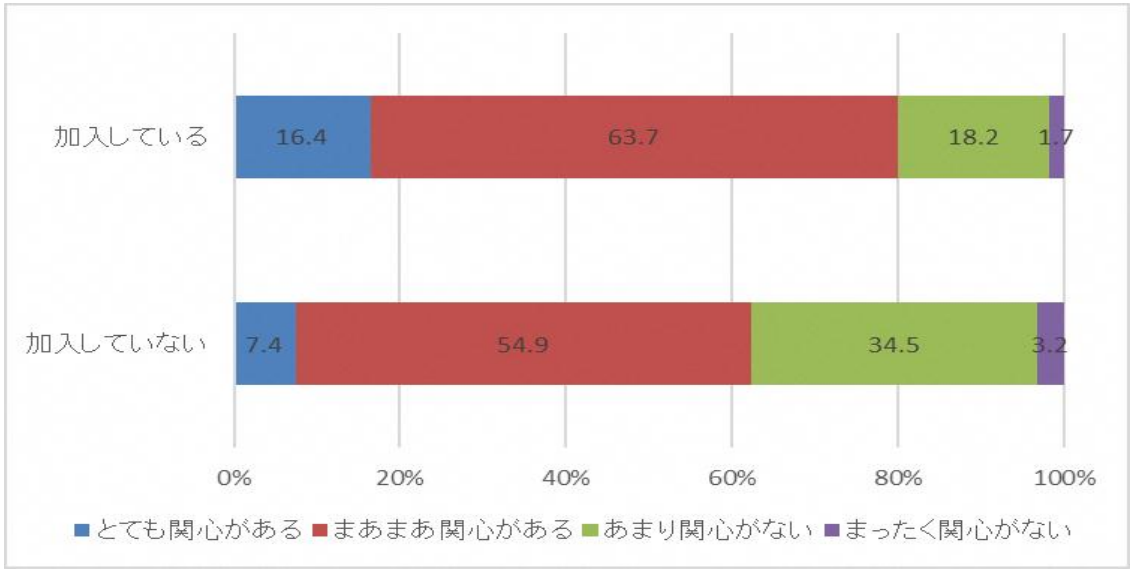


イ　近所のことに対する関心度と付き合いの程度について

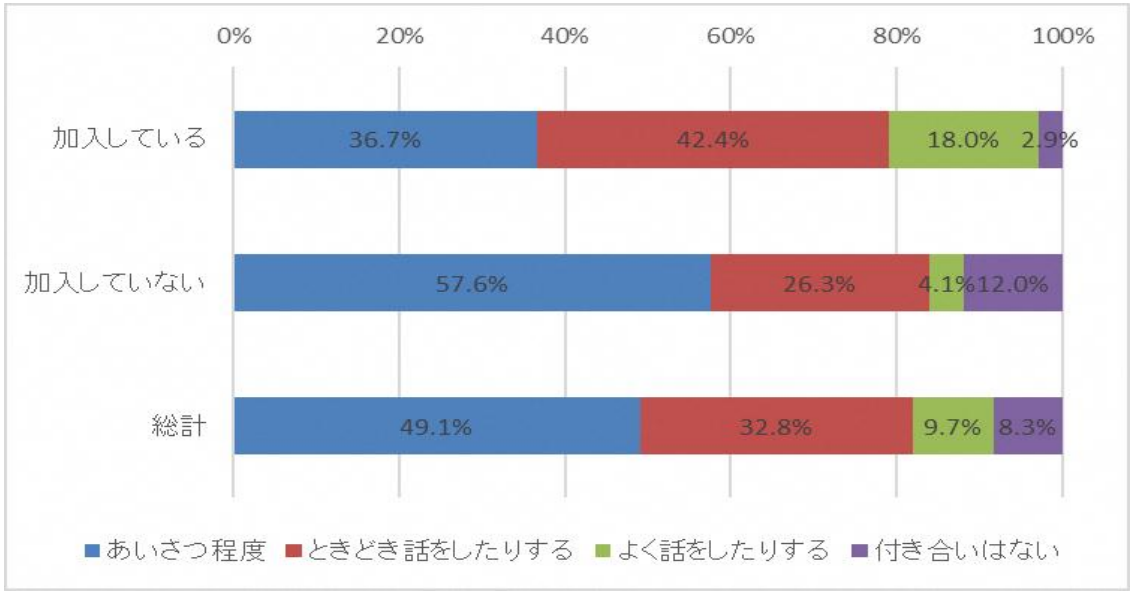
近所のことについてどの程度関心があるのかをみたのが次図である。

加入していない人は「あまり関心ない」の割合が高くなっている。加入していない人は、その多くが賃貸住宅に住んでいることもあって、近所のことについての関心が低いのであろうか。また、近所の人とどの程度の付き合いか聞いた質問の結果を見ると、関心が低い分、付き合いの程度も低くなっていることが分かる。

近所のことに対する関心



近所とどの程度の付き合いか

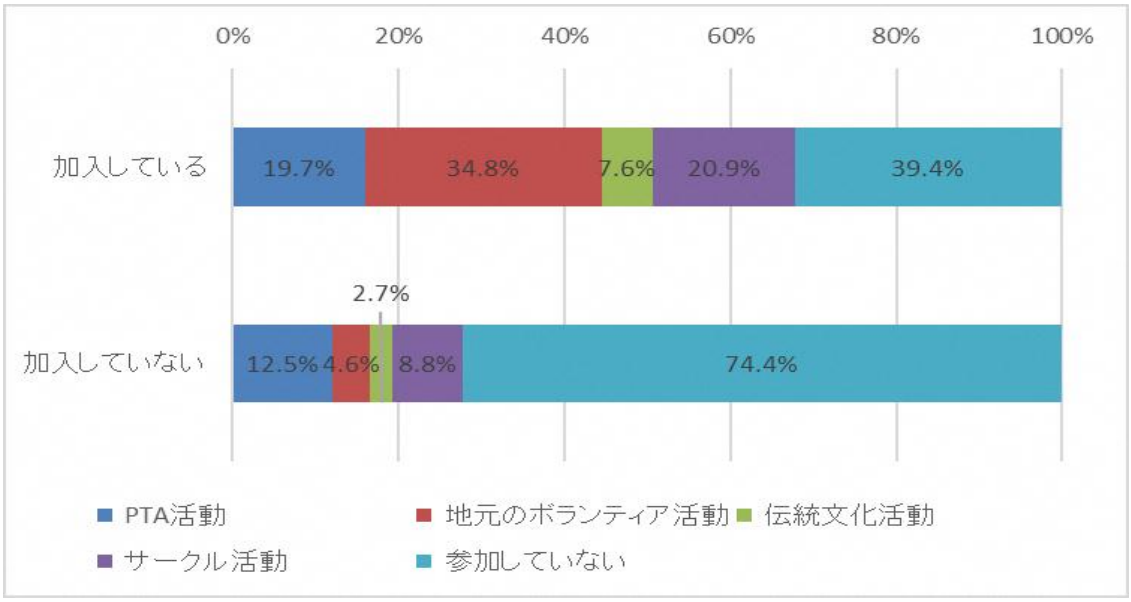


ウ　各種活動への参加について

加入していない人は、地域においてどんな活動をしているのであろうか。

加入していない人は、地域活動に「参加していない」が 7 割を超えており（74.4%）、これはこれまでに見た地域への関心の度合いと整合的である。活動していると答えた中では「PTA 活動」が最も多く（12.5%）、これは子育て世代の活動状況を反映したものであろう。

地域における活動



（３）加入促進のためのニーズ

自治会未加入者の特性を踏まえて、未加入者のニーズを探り、自治会加入への取り組みのヒントとなるべく検討していく。

ア　加入しない理由（複数回答）

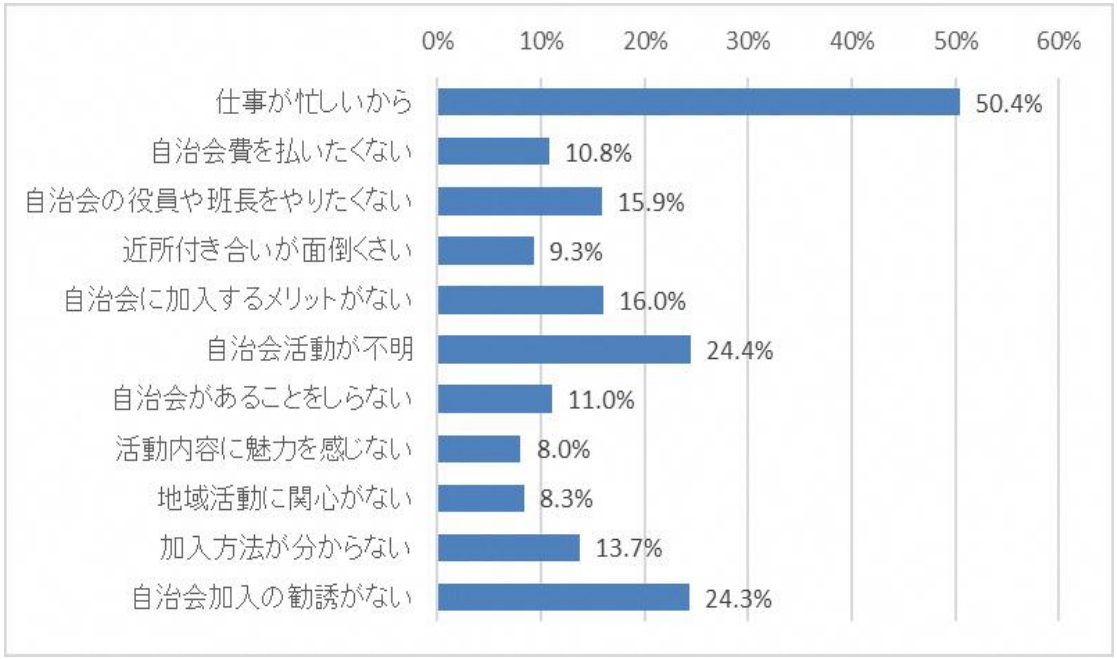
まず、入会しない理由はなんであるのかを見る必要がある。

「仕事が忙しいから」が 50.4%と最も高く、未加入者は 20 代から 40 代が中心であることから、その多くが働いており、このような結果となっている。

「自治会活動が不明」（24.4%）が第 2 位であるが活動内容を具体的に知らないことも加入しない理由になっている。さらに、「自治会加入の勧誘がない」（24.3%）と続いている。

勧誘の機会がないのは、働いているため夜も遅くまで帰宅していないことやアパートなどの賃貸住宅に住んでいることから、自治会役員等の勧誘する人が訪問しにくい状況があるのかもしれない。

加入しない理由



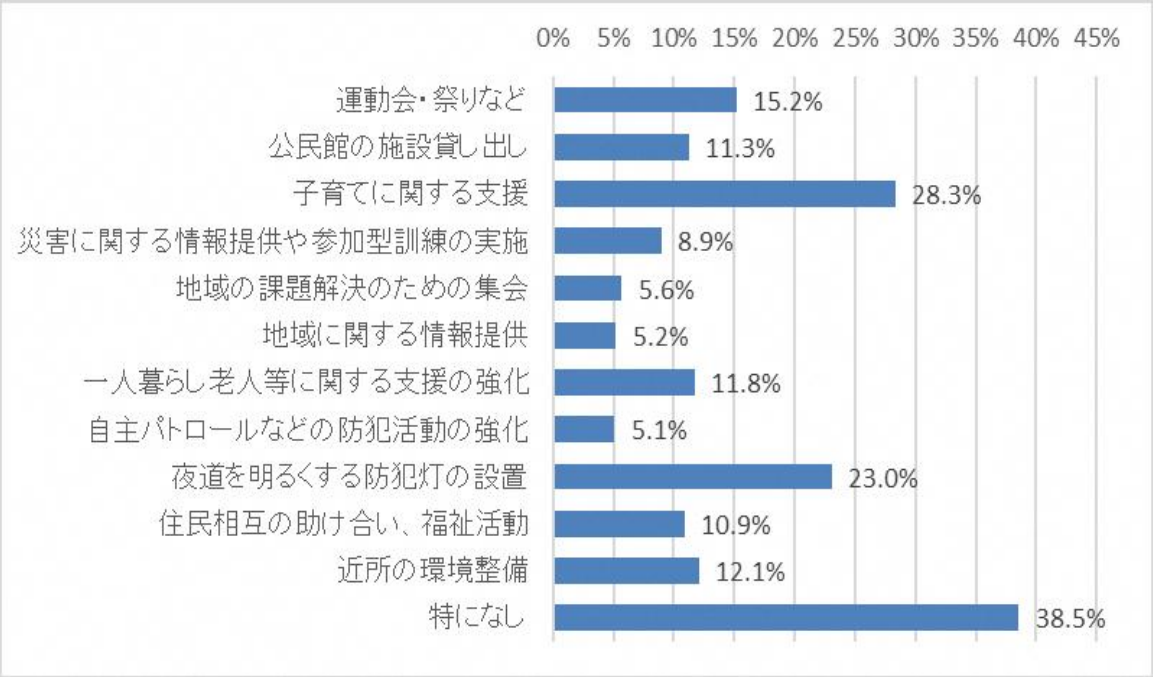
イ　どのような取り組みがあると加入するのか

どのような取り組みがあると加入したいと思うのであろうか。

「子育てに対する支援」が 28.3%と最も多く、次に「防犯灯の設置」が 23.0%と続いている。子育て支援に対するニーズが高いが、これは 20 代～40 代の子育て世代が多いためであろう。本アンケートでは共働きの状況については聞いていないが、恐らくそれも反映しているかも知れない。防犯灯のニーズが高いのは、帰宅の際の夜道を明るくして欲しいということと子供のことを考えているのかもしれない。

その一方で、「特になし」（38.5%）という人も多い。もともと地域に対する関心が薄いのであるが、このような人たちにどんなアプローチが有効なのか検討する必要があると思われる。

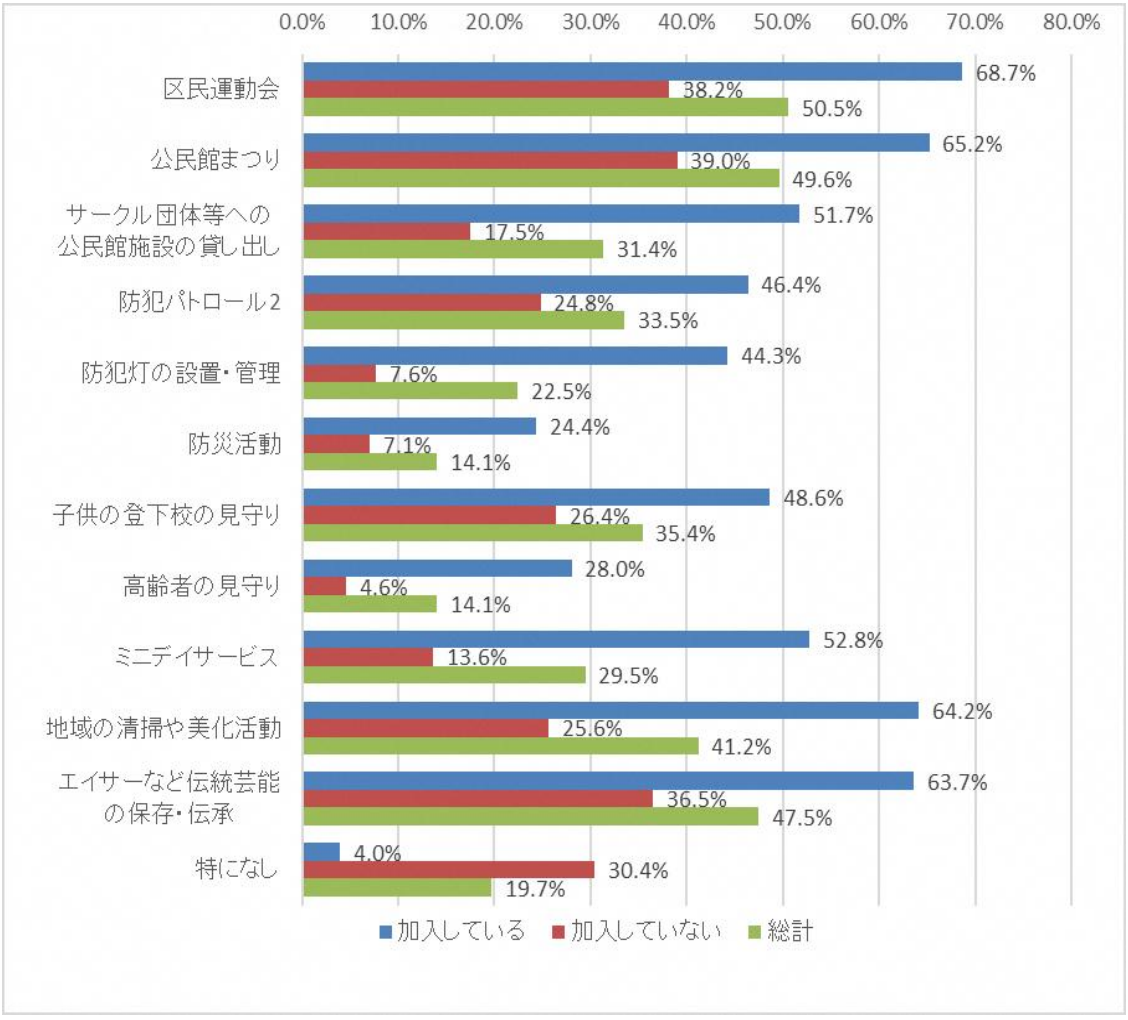
どのような取り組みがあると加入するのか



ウ　自治会活動の認知度

自治会活動に対してどの程度知っているのかを聞いたところ、未加入者は総じて全ての取組に関する認知度が低く、特に「防犯灯の設置・管理」や「防災活動」、「高齢者の見守り」、に関しては、1 割にも満たない。これらは実際に自治会として行っているにもかかわらず認知度が低い状況である。

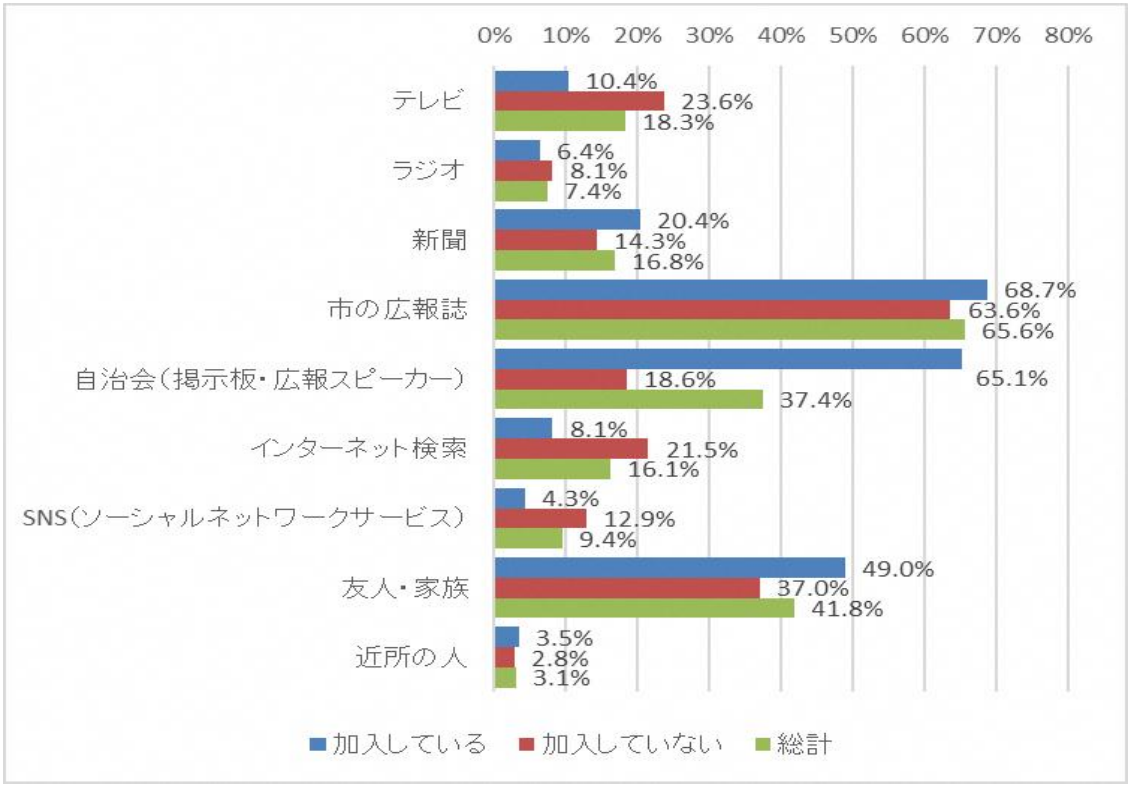
自治会活動の認知度



エ　地域の情報の入手先

加入していない人はインターネット検索などが 2 割いる。加入していない人は若い世代が多いためか SNS の利用も多い。市の広報誌の割合（63.6%）も高いことから、自治会情報を発信する場合、これらのメディアをうまく活用することが課題である。

地域情報の入手先

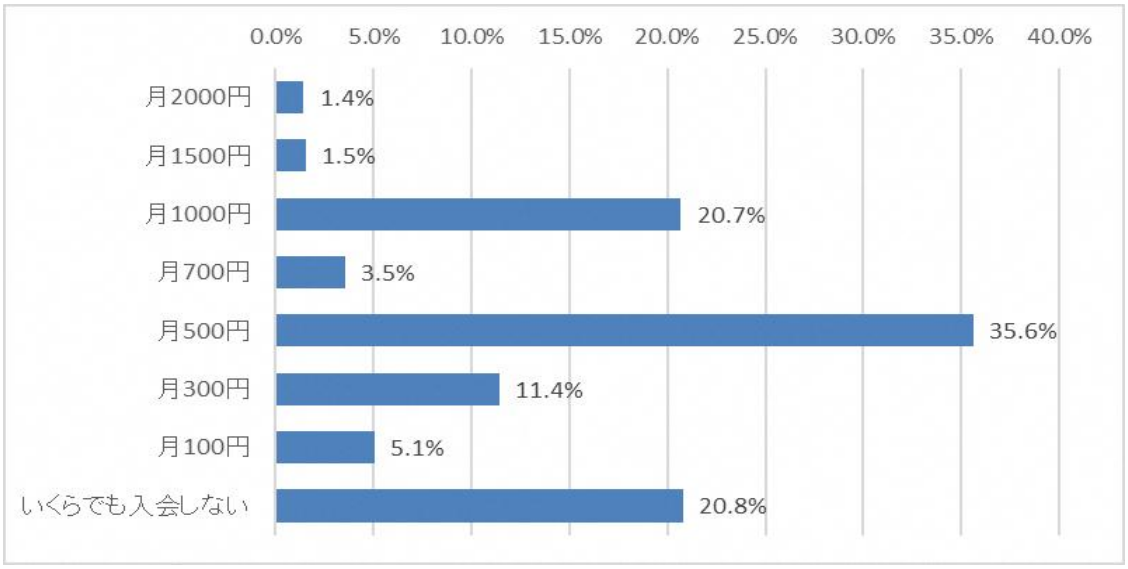


オ　入会金がいくらだと入会するか

「月 500 円」が 35.5%と最も多く、「月 1,000 円を支払ってもよい」と考えている人は 20.7%いる。

その一方、「いくらでも入会しない」と回答した人が約 2 割（20.8%）もいる。では、「いくらでも入会しない」と答えた人はどんな人達であろうか、月千円および月 500 円払ってもいいと答えた人との比較で検討してみたい。

いくらだと入会するか



「いくらでも入会しない」と答えた人は、やはり、20 代が最も高い（39.5%）月千円払ってもよいと回答した人は、30 代（34.1%）が最も高く、月 500 円払ってもよい（37.3%）とほぼ同じになっている。他の質問でも見てきたように、地域への関心や近所との付き合いが薄い世代が多く、自治会の必要性を感じていない。

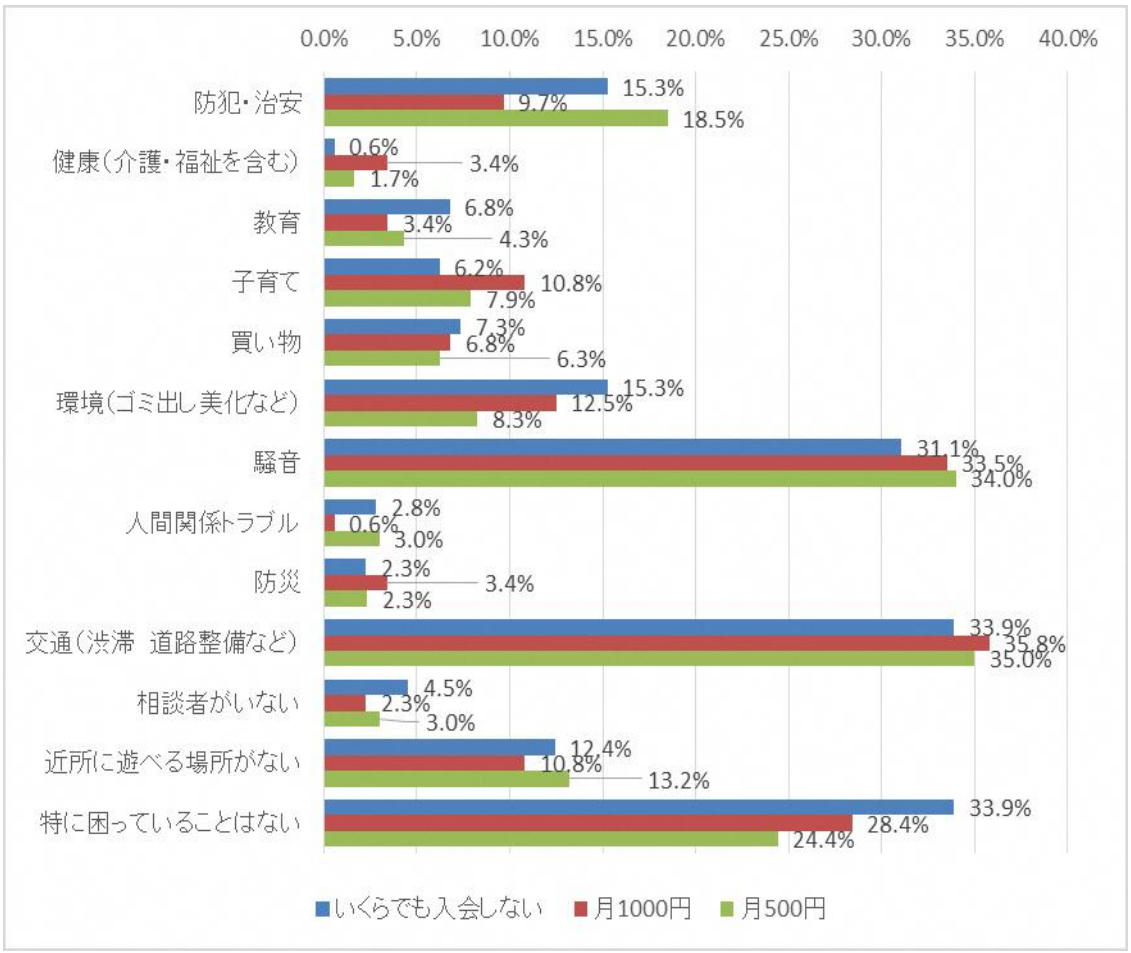
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
いくらでも入会しない	5	70	41	32	20	8	1	177
月1000円	1	43	60	36	23	12	1	176
月500円	2	68	113	75	32	10	3	303
	構成比							
いくらでも入会しない	2.8%	39.5%	23.2%	18.1%	11.3%	4.5%	0.6%	100.0%
月1000円	0.6%	24.4%	34.1%	20.5%	13.1%	6.8%	0.6%	100.0%
月500円	0.7%	22.4%	37.3%	24.8%	10.6%	3.3%	1.0%	100.0%

さらに、困っていることを聞いた質問とクロスしたのが次図である。

どのグループでも「騒音」と「交通」を挙げる割合が高い。「いくらでも入会しない」と回答した人は「特に困っていることはない」の回答が最も高くなっている（33.9%）。ただし、「環境」と答えた割合が他のグループに比べて高い。

一方、「千円支払ってもよい」と答えた人は、他のグループにくらべて困っている度合いが高いのは、「健康」（3.4%）と「子育て」（10.8%）である。推測であるが、介護や子育てで困っており、逆に言えばそのニーズが高い人達だと思われる。

いくら払うかと困っていることのクロス



（4）自治会の今後の取り組み

ここでは、今後の自治会活動に参考になるような質問を中心に整理した。

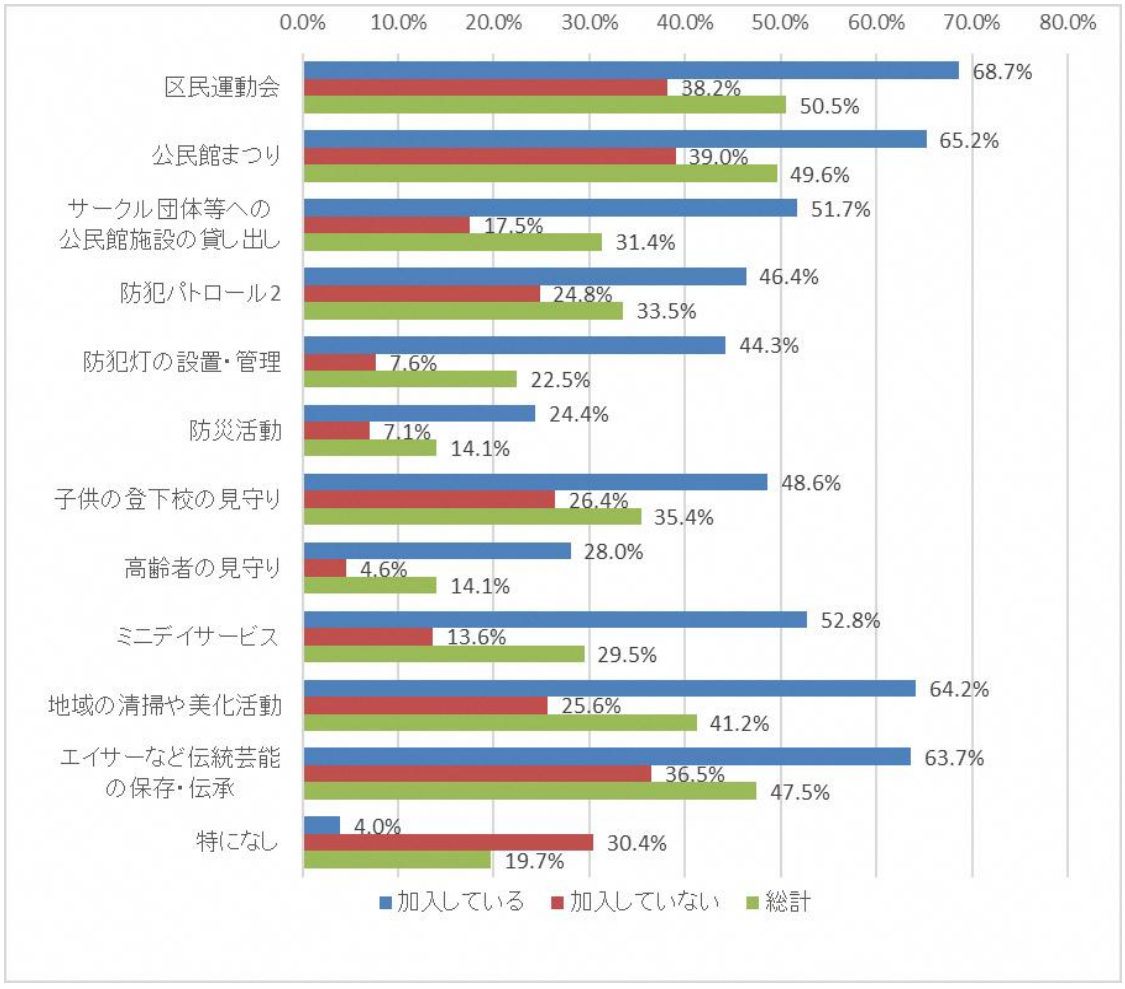
まず、自治会の活動について、その認知度を聞いた質問から見る。これは加入している人と加入していない人に分けて見た。

未加入者は総じて全ての取組に関する認知度が低く、特に「防犯灯の設置・管理」や「防災活動」、「高齢者の見守り」、に関しては、1割にも満たない。

また、加入者と未加入者の認知度の格差が大きい項目として、「サークル団体等への公民館施設の貸し出し」、「防犯灯の設置・管理」、「高齢者の見守り」、「ミニデイサービス」が挙げられる。

加入している人についてみると、意外と低いのが「防災活動」、「高齢者の見守り」で、認知率はそれぞれ、24.4%、28.0%である。

自治会活動の認知度

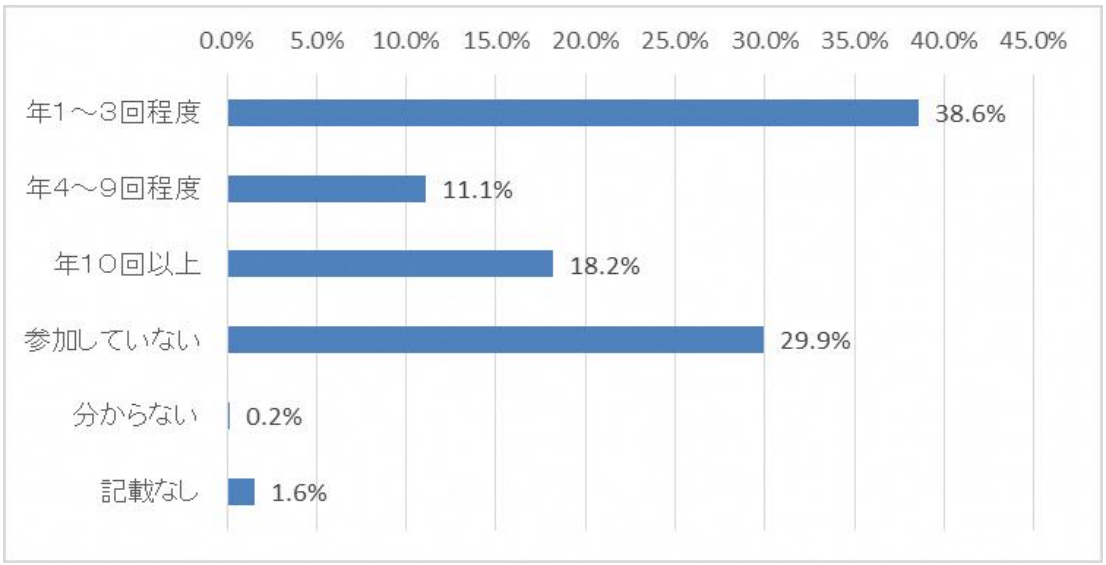


次に、自治会活動への参加率を聞いた質問の集計結果を見ると、加入している人でも約 3 割近くが活動に「参加していない」と回答している。

年 10 回以上も参加する人も 2 割近くいるが、大半が年 1～3 回程度となっている。これらの人々が参加しにくい要因（仕事で忙しいなど）があると思われ、参加率を上げるための働きかけが必要であろう。

自治会活動への参加頻度

	人	構成比
年１～３回程度	223	38.6%
年４～９回程度	64	11.1%
年１０回以上	105	18.2%
参加していない	173	29.9%
分からない	1	0.2%
記載なし	9	1.6%
総計	578	100.0%



4.集計結果（質問順）

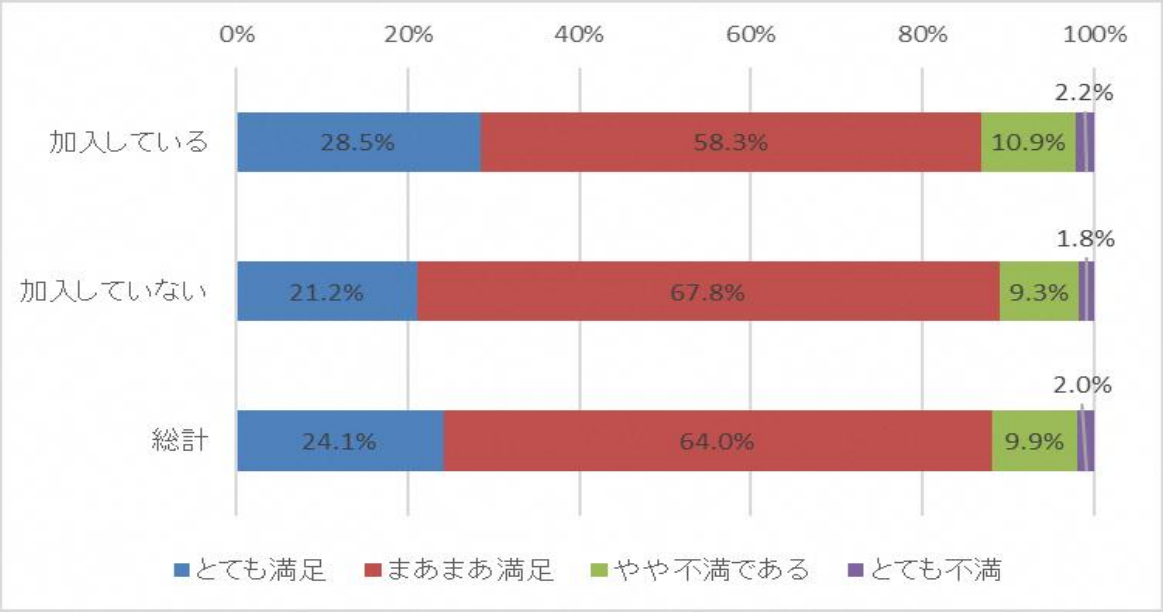
ここでは集計結果について、質問順にみていく。

なお、自治会への加入の有無を聞いているので、「加入している」と「加入していない」に分けて集計した。ただし、「加入していない」には、「加入していたけどやめた」人も含む。

Q1　現在、住んでいる地域に満足していますか。

加入している人の満足度は「とても満足」と答えた人の割合が、加入していない人に比べて高くなっている。不満度については、どちらについても大きな差はない。全体で見ても、とても満足とまあまあ満足を合わせて 88.1%大半の人が満足している状況である。

	実数			構成比		
	加入している	加入していない	総計	加入している	加入していない	総計
とても満足	165	180	345	28.5%	21.2%	24.1%
まあまあ満足	337	577	914	58.3%	67.8%	64.0%
やや不満である	63	79	142	10.9%	9.3%	9.9%
とても不満	13	15	28	2.2%	1.8%	2.0%
総計	578	851	1429	100.0%	100.0%	100.0%

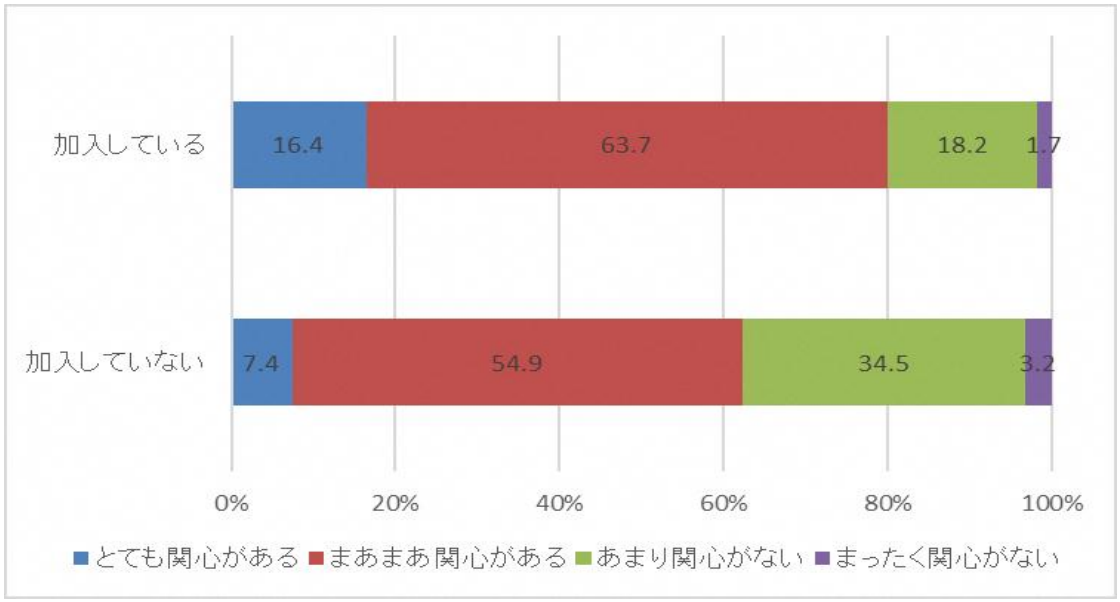


Q2　近所のことについてどの程度関心がありますか。

加入している人は、近所のことについて関心がある割合が高くなっている。

その一方、加入していない人は「あまり関心ない」の割合が高くなっている。加入している人とそうでない人の結果が対照的である。

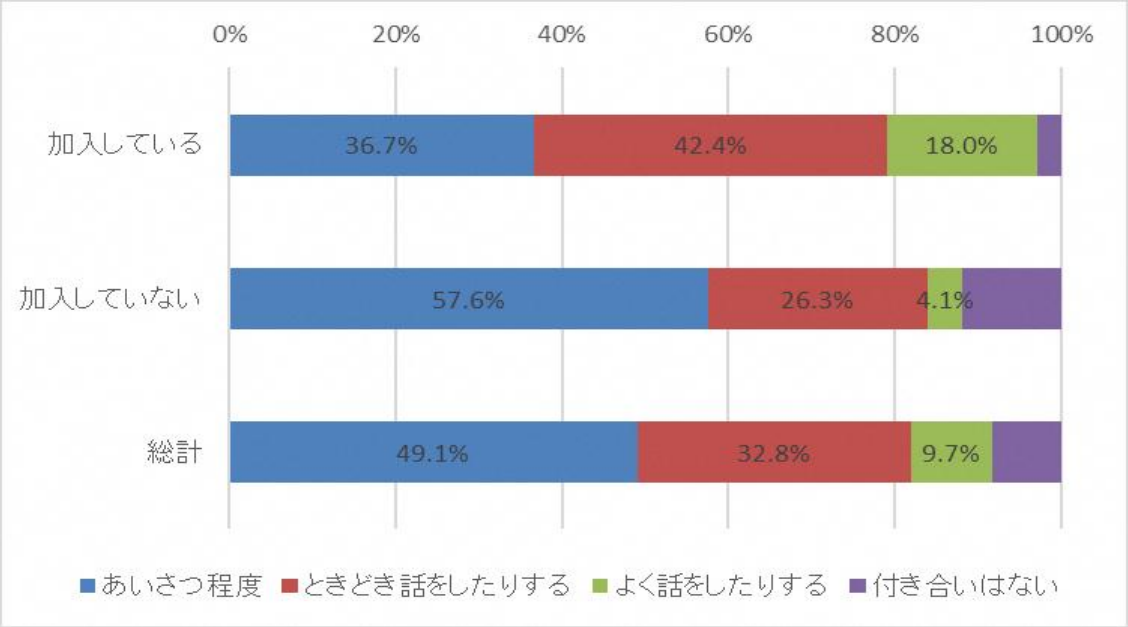
	実数			構成比		
	加入している	加入していない	総計	加入している	加入していない	総計
とても関心がある	95	63	158	16.4%	7.4%	11.1%
まあまあ関心がある	368	467	835	63.7%	54.9%	58.4%
あまり関心がない	105	294	399	18.2%	34.5%	27.9%
まったく関心がない	10	27	37	1.7%	3.2%	2.6%
総計	578	851	1429	100.0%	100.0%	100.0%



Q3　近所とどの程度のお付き合いがありますか。

加入している人は、よく話をしているが 42.4%、よく話をしたりするが 18.0%と加入していない人に比べ多い。特によく話をしたりするでは、加入していない人はわずか 4.1%にとどまっており、また、付き合いがないも 1 割以上おり、近所付き合いは比較的に希薄なようである。

	実数			構成比		
	加入している	加入していない	総計	加入している	加入していない	総計
あいさつ程度	212	490	702	36.7%	57.6%	49.1%
ときどき話をしたりする	245	224	469	42.4%	26.3%	32.8%
よく話をしたりする	104	35	139	18.0%	4.1%	9.7%
付き合いはない	17	102	119	2.9%	12.0%	8.3%
総計	578	851	1429	100.0%	100.0%	100.0%

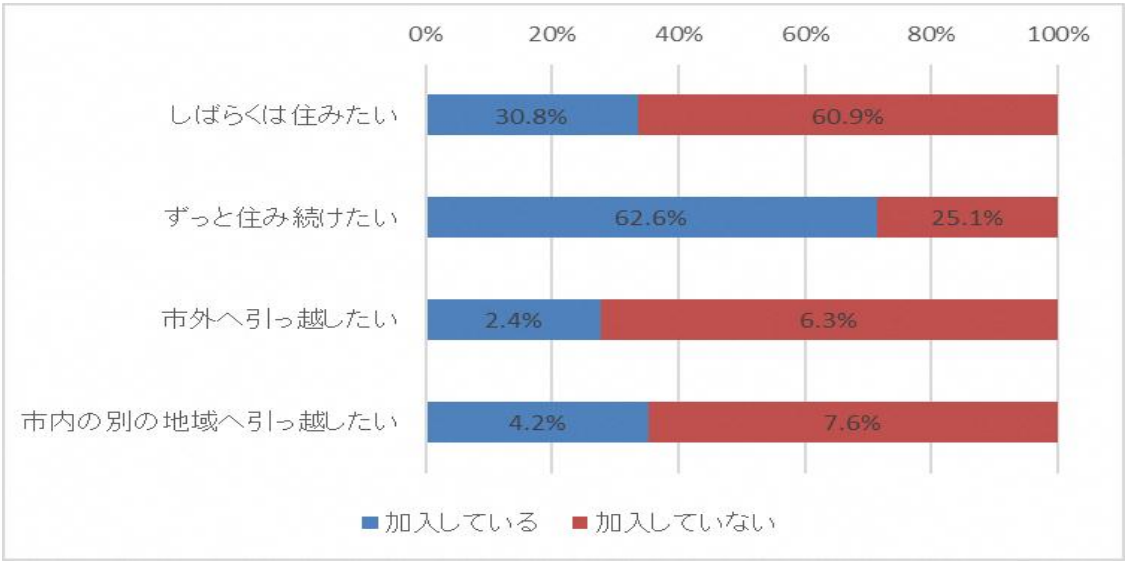


Q4　今住んでいるところに住み続けたいですか。

全体では、「しばらくは住みたい」が 48.7%と最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が 40.3%となっている。

加入している人は「ずっと住み続けたい」が 62.5%と、過半数以上の人が永住する意向を示している。これに対して、加入していない人は「しばらくは住みたい」が 60.9%と加入している人と全く逆の傾向である。

	実数(人)			比率		
	加入している	加入していない	総計	加入している	加入していない	総計
しばらくは住みたい	178	518	696	30.8%	60.9%	48.7%
ずっと住み続けたい	362	214	576	62.6%	25.1%	40.3%
市外へ引っ越したい	14	54	68	2.4%	6.3%	4.8%
市内の別の地域へ引っ越したい	24	65	89	4.2%	7.6%	6.2%
総計	578	851	1429	100.0%	100.0%	100.0%



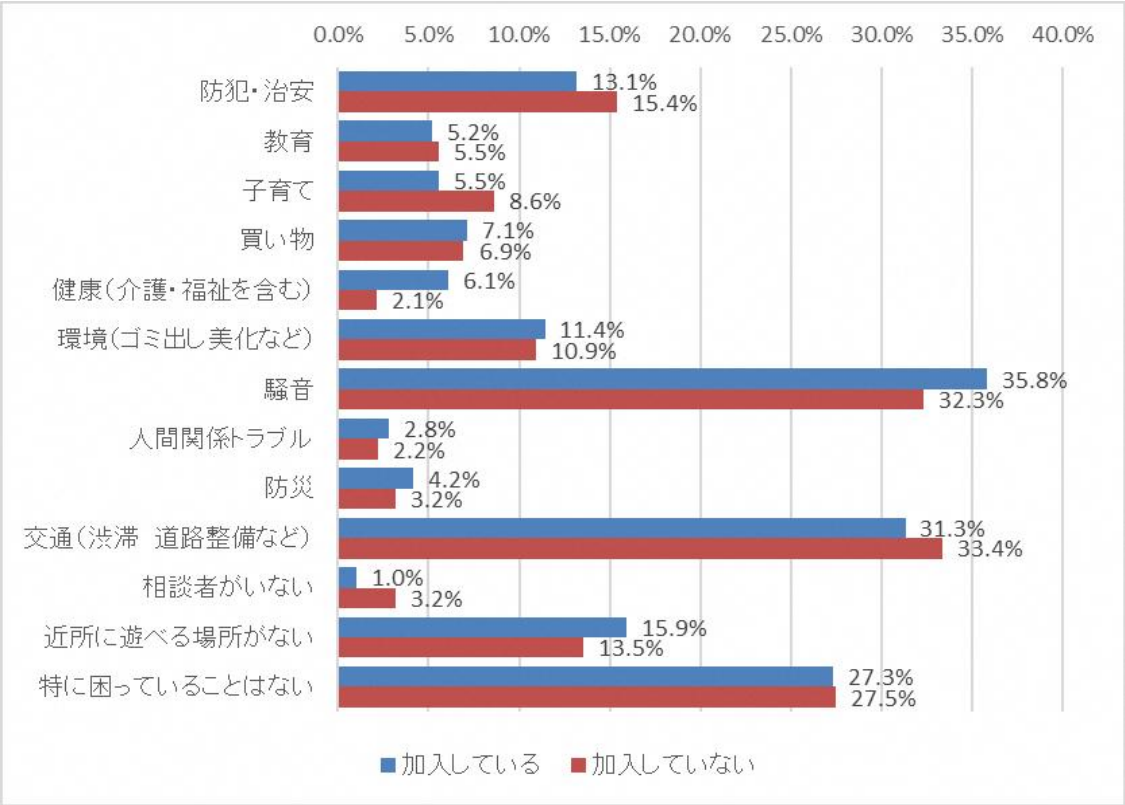
Q５　今住んでいるところに対して困っていることはありますか。（複数回答）

市民全体（総計）で見て最も多いのは、「騒音」（33.7%）となり、次いで「交通（渋滞、道路整備など）」の 32.5%である。この 2 つ型の項目に比べて高い割合となっており、騒音は普天間基地の航空機の離発着に伴うものであると思われ、解決の難しい問題でもある。

この 2 項目については加入者も未加入者も同じ傾向である。

加入していない人が加入している人より高いものは、「防犯・治安」、「子育て」、となっている。また、相談者がいないも回答者は少ないものの気になるところではある。

	実数			構成比		
	加入している	加入していない	総計	加入している	加入していない	総計
防犯･治安	76	131	207	13.1%	15.4%	14.5%
教育	30	47	77	5.2%	5.5%	5.4%
子育て	32	73	105	5.5%	8.6%	7.3%
買い物	41	59	100	7.1%	6.9%	7.0%
健康（介護・福祉を含む）	35	18	53	6.1%	2.1%	3.7%
環境（ゴミ出し美化など）	66	93	159	11.4%	10.9%	11.1%
騒音	207	275	482	35.8%	32.3%	33.7%
人間関係トラブル	16	19	35	2.8%	2.2%	2.4%
防災	24	27	51	4.2%	3.2%	3.6%
交通（渋滞　道路整備など）	181	284	465	31.3%	33.4%	32.5%
相談者がいない	6	27	33	1.0%	3.2%	2.3%
近所に遊べる場所がない	92	115	207	15.9%	13.5%	14.5%
特に困っていることはない	158	234	392	27.3%	27.5%	27.4%



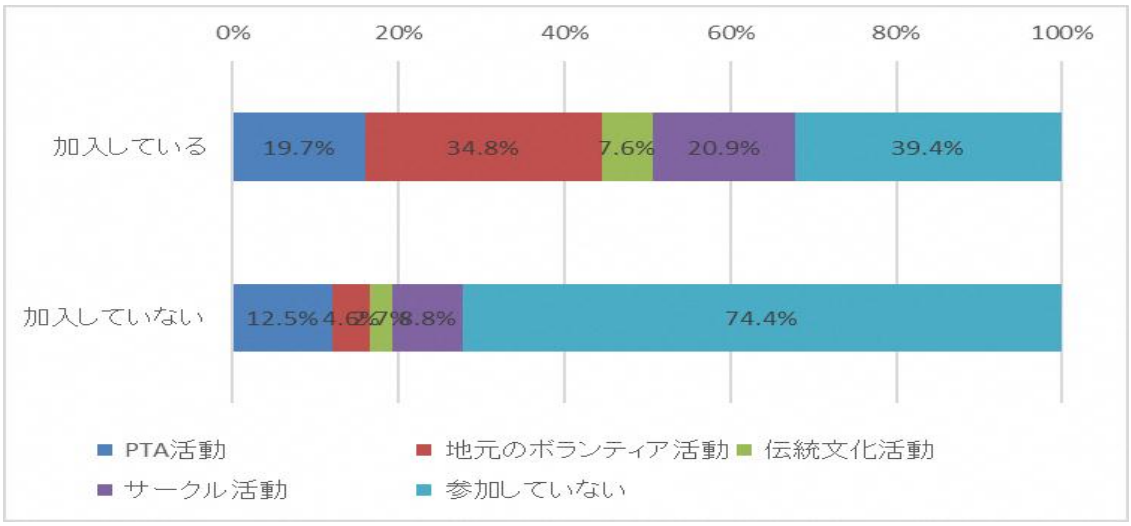
Q6　どんな活動に参加していますか。

加入している人と加入していない人で大きな差がでている。

加入している人は、どの項目も参加率は高いが特に、「地元のボランティア活動」(34.8%)、「サークル活動」(20.9%) の参加率は高い。これは恐らく自治会活動の一環として参加していると考えられる。

一方、加入していない人は「PTA 活動」が最も多く (12.5%)、子育て世代の活動状況を反映したものであろう。

	実数			構成比		
	加入している	加入していない	総計	加入している	加入していない	総計
PTA活動	114	106	220	19.7%	12.5%	15.4%
地元のボランティア活動	201	39	240	34.8%	4.6%	16.8%
伝統文化活動	44	23	67	7.6%	2.7%	4.7%
サークル活動	121	75	196	20.9%	8.8%	13.7%
参加していない	228	633	861	39.4%	74.4%	60.3%



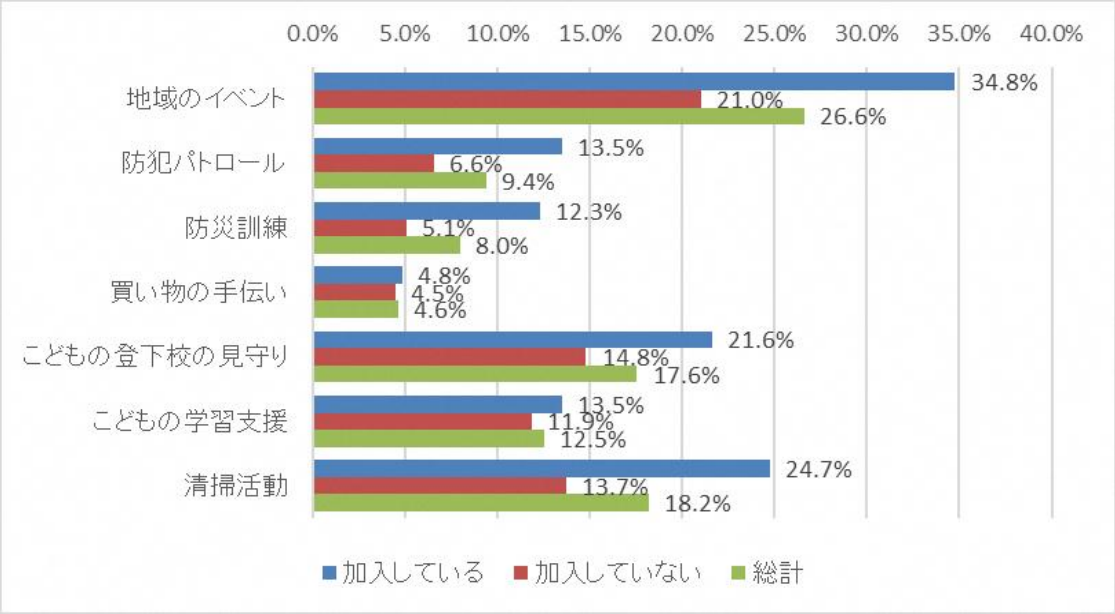
Q7　地域に対してボランティアしてみたいことはありますか（複数回答可）

加入している人は、「地域のイベント」が 34.8%と最も多く、次いで「清掃活動」(24.7%)、「こどもの登下校の見守り」(21.6%) の順となっている。

加入していない人も同じ順番となっている。

「防犯パトロール」と「防災訓練」については、加入している人のボランティア活動意向は加入していない人より強い。アンケート結果から見ると防犯・防災に対する未加入者の意識は低いようである。

	実数			構成比		
	加入している	加入していない	総計	加入している	加入していない	総計
地域のイベント	201	179	380	34.8%	21.0%	26.6%
防犯パトロール	78	56	134	13.5%	6.6%	9.4%
防災訓練	71	43	114	12.3%	5.1%	8.0%
買い物の手伝い	28	38	66	4.8%	4.5%	4.6%
こどもの登下校の見守り	125	126	251	21.6%	14.8%	17.6%
こどもの学習支援	78	101	179	13.5%	11.9%	12.5%
清掃活動	143	117	260	24.7%	13.7%	18.2%

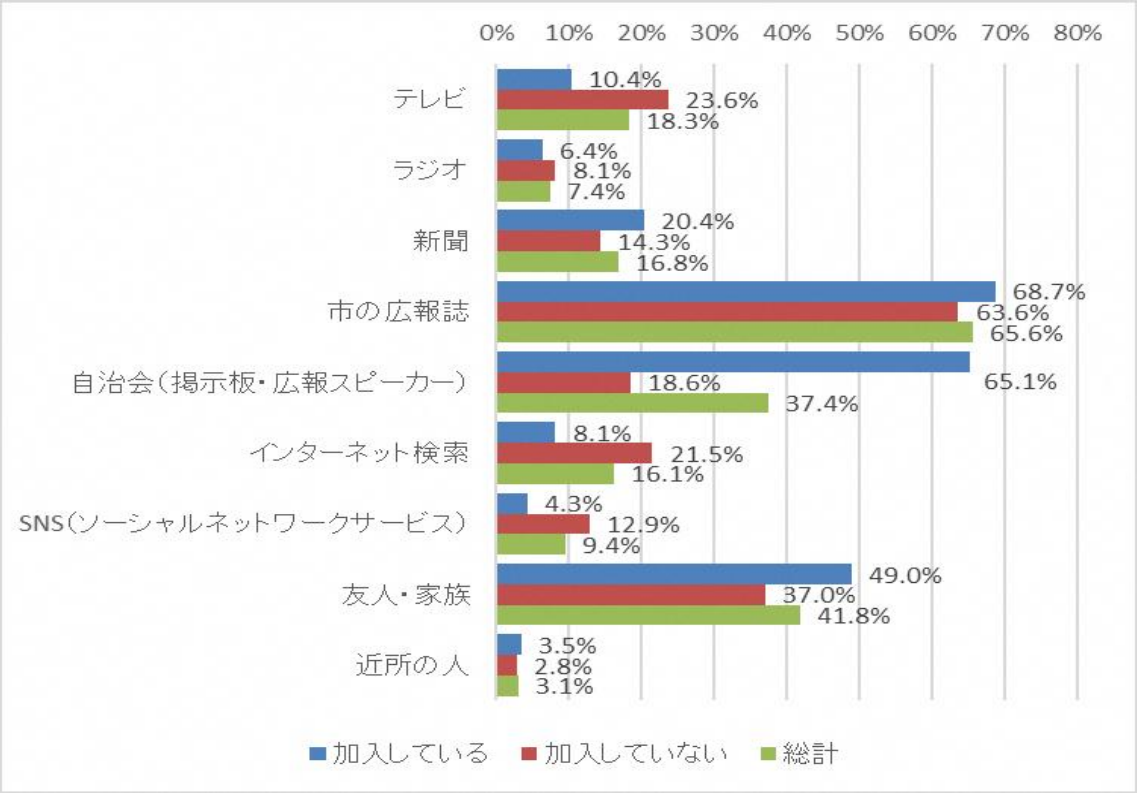


Q8　お住まいの地域の情報をどこから入手していますか（複数回答可）。

地域の情報入手は、市の広報誌や友人・家族が多い。加入している人では自治会が多いが、加入していない人はインターネット検索なども 2 割いる。

加入していない人は若い世代が多いためか SNS の利用も多い。

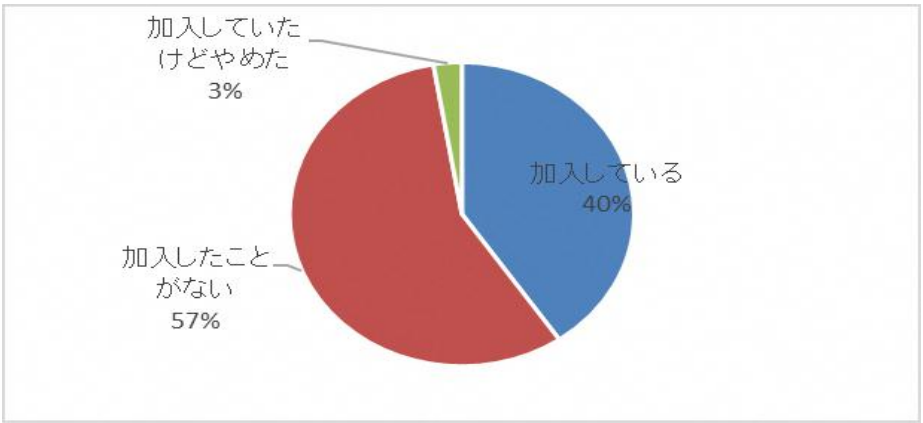
	実数			構成比		
	加入している	加入していない	総計	加入している	加入していない	総計
テレビ	60	201	261	10.4%	23.6%	18.3%
ラジオ	37	69	106	6.4%	8.1%	7.4%
新聞	118	122	240	20.4%	14.3%	16.8%
市の広報誌	397	541	938	68.7%	63.6%	65.6%
自治会（掲示板・広報スピーカー）	376	158	534	65.1%	18.6%	37.4%
インターネット検索	47	183	230	8.1%	21.5%	16.1%
SNS（ソーシャルネットワークサービス）	25	110	135	4.3%	12.9%	9.4%
友人・家族	283	315	598	49.0%	37.0%	41.8%
近所の人	20	24	44	3.5%	2.8%	3.1%



Q9　自治会に加入していますか。

加入したことがない人が 56.9%と約 6 割に達する。加入している人は 40.4%となっており、実際の宜野湾市の自治会加入率 27%（平成 29 年度）に比べるとかなり高い結果となっている。

	人数	構成比
加入している	578	40.4%
加入したことがない	813	56.9%
加入していたけどやめた	38	2.7%
総計	1429	100.0%



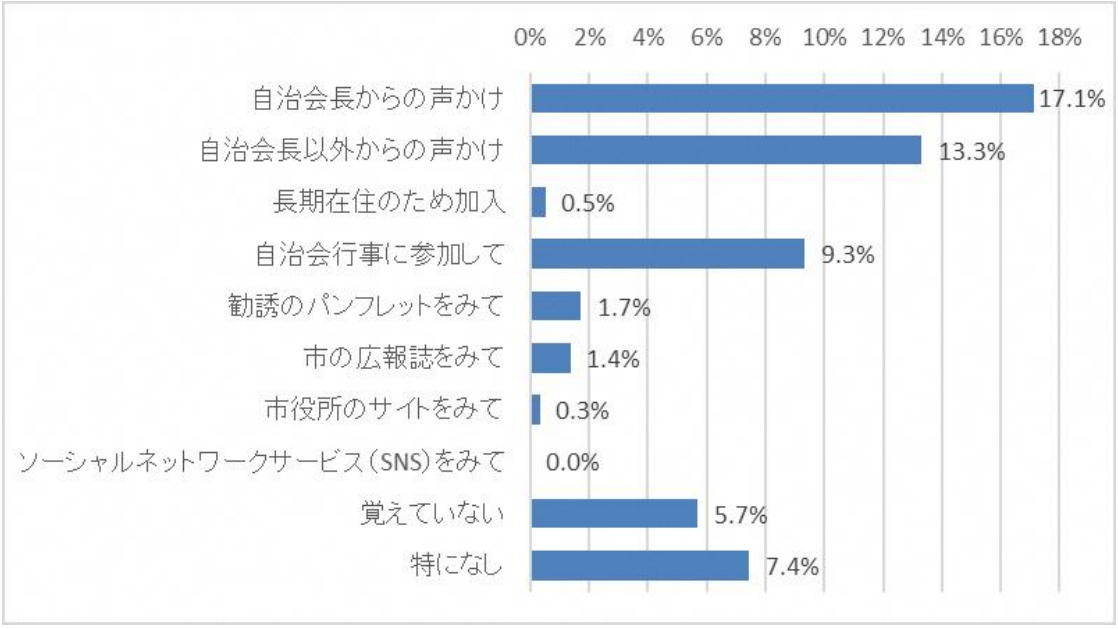
Q9-1　自治会に入会したきっかけは何ですか（複数回答可）

自治会に加入している人に聞いた質問である。

加入している人の加入のきっかけは、「自治会長からの声かけ」（17.1%）、「そのほかの人の声かけ」（13.3%）が大多数である。「勧誘のパンフレットをみて」や「市の広報誌をみて」の割合は少ない。

これまでの入会者は直接、自治会の役員や入会者が声をかけることが入会につながっていることが分かる。

	人数	構成比
自治会長からの声かけ	99	17.1%
自治会長以外からの声かけ	77	13.3%
長期在住のため加入	3	0.5%
自治会行事に参加して	54	9.3%
勧誘のパンフレットをみて	10	1.7%
市の広報誌をみて	8	1.4%
市役所のサイトをみて	2	0.3%
ソーシャルネットワークサービス（SNS）をみて	0	0.0%
覚えていない	33	5.7%
特になし	43	7.4%

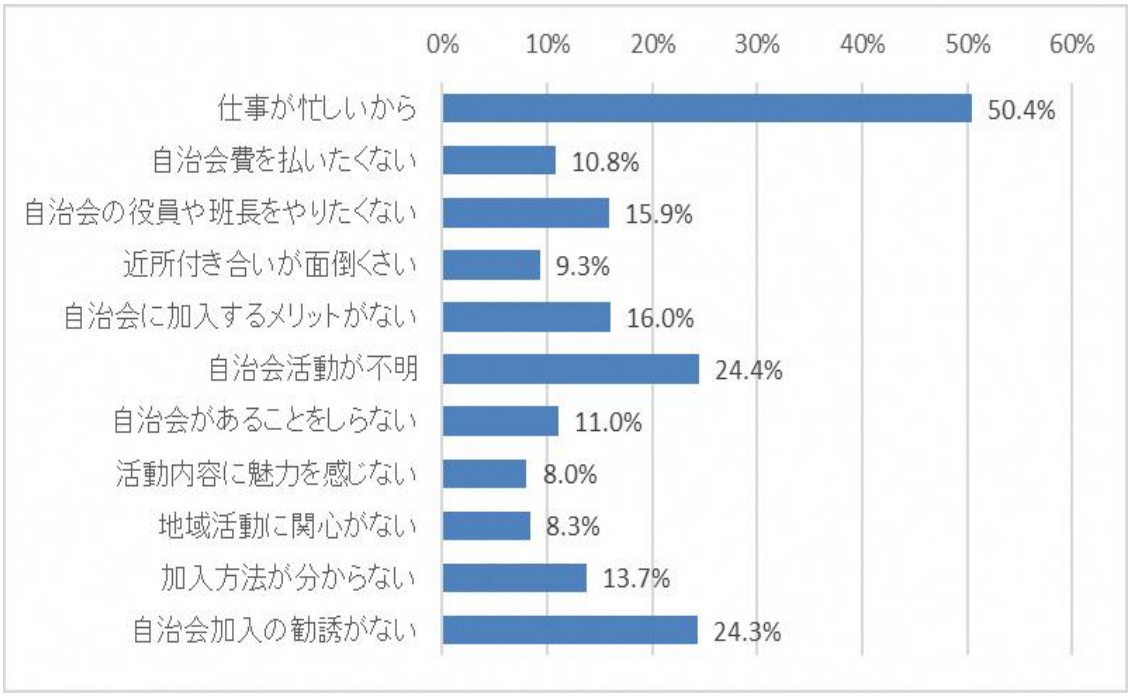


Q9-1　入会していない理由は何ですか（複数可）。

未加入の理由としては、「仕事が忙しいから」が 50.4%と最も多い。これは、20 代～40 代の働く世代の人が多いためであろう。

また、「活動が不明なため」（24.4%）、「自治会の介入の勧誘がない」（24.3%）という人も多い。勧誘に当たっては、この結果を踏まえて、自治会活動内容をもっと地域住民に知らせることや勧誘活動を増やすなどの方法が有効であるかもしれない。

	人数	構成比
仕事が忙しいから	429	50.4%
自治会費を払いたくない	92	10.8%
自治会の役員や班長をやりたくない	135	15.9%
近所付き合いが面倒くさい	79	9.3%
自治会に加入するメリットがない	136	16.0%
自治会活動が不明	208	24.4%
自治会があることをしらない	94	11.0%
活動内容に魅力を感じない	68	8.0%
地域活動に関心がない	71	8.3%
加入方法が分からない	117	13.7%
自治会加入の勧誘がない	207	24.3%

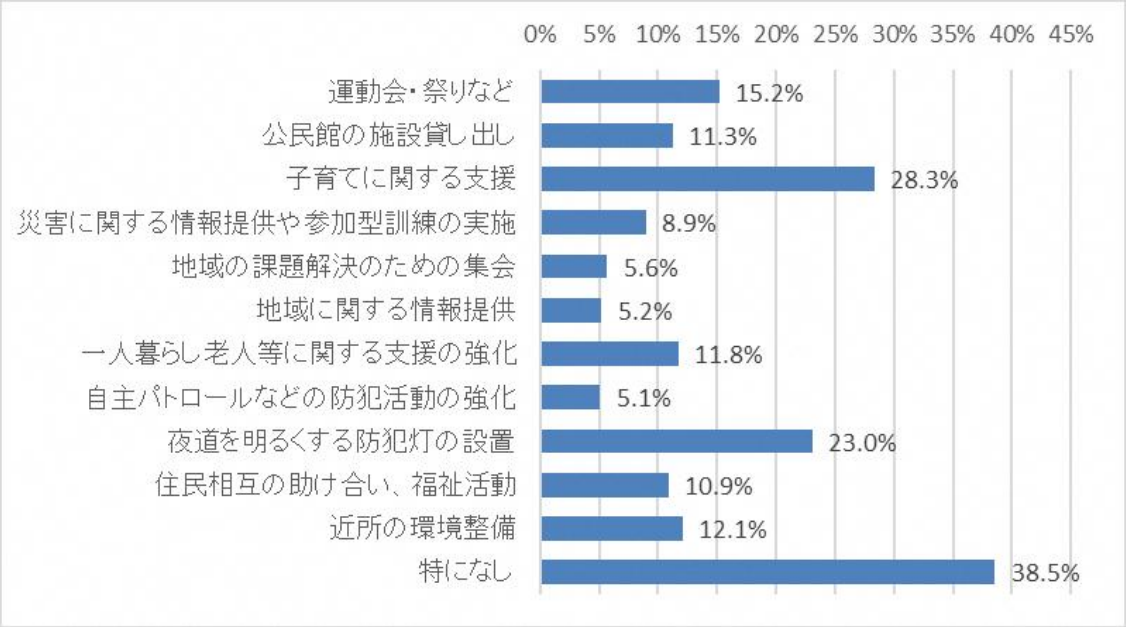


Q9-2　どんな取り組みがあると入会したいですか（複数回答可）

加入していない人にどのような取り組みがあると加入するかを聞いたところ、「子育てに対する支援」が 28.3%と最も多く、次に「防犯灯の設置」が 23.0%と続いている。

その一方で、「特になし」（38.5%）という人も多い。

	人数	構成比
運動会・祭りなど	129	15.2%
公民館の施設貸し出し	96	11.3%
子育てに関する支援	241	28.3%
災害に関する情報提供や参加型訓練の実施	76	8.9%
地域の課題解決のための集会	48	5.6%
地域に関する情報提供	44	5.2%
一人暮らし老人等に関する支援の強化	100	11.8%
自主パトロールなどの防犯活動の強化	43	5.1%
夜道を明るくする防犯灯の設置	196	23.0%
住民相互の助け合い、福祉活動	93	10.9%
近所の環境整備	103	12.1%
特になし	328	38.5%



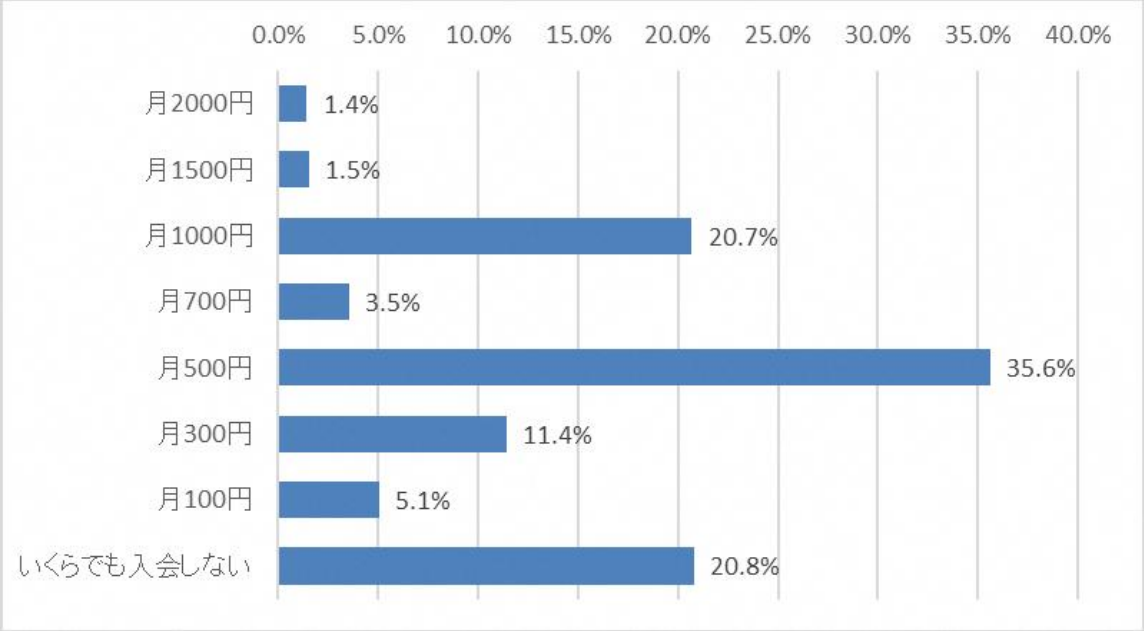
Q9-3　自治会に入会する場合、自治会費はいくらが適当だと思いますか。

これは、加入していない人に聞いた質問である。

月 500 円が 35.5%と最も多く、次 1,000 円を支払ってもよいと考えている人は 20.7%いる。

その一方、いくらでも入会しないと回答した人が約 2 割（20.8%）もいる。

	人数	構成比
月2000円	12	1.4%
月1500円	13	1.5%
月1000円	176	20.7%
月700円	30	3.5%
月500円	303	35.6%
月300円	97	11.4%
月100円	43	5.1%
いくらでも入会しない	177	20.8%
総計	851	100.0%

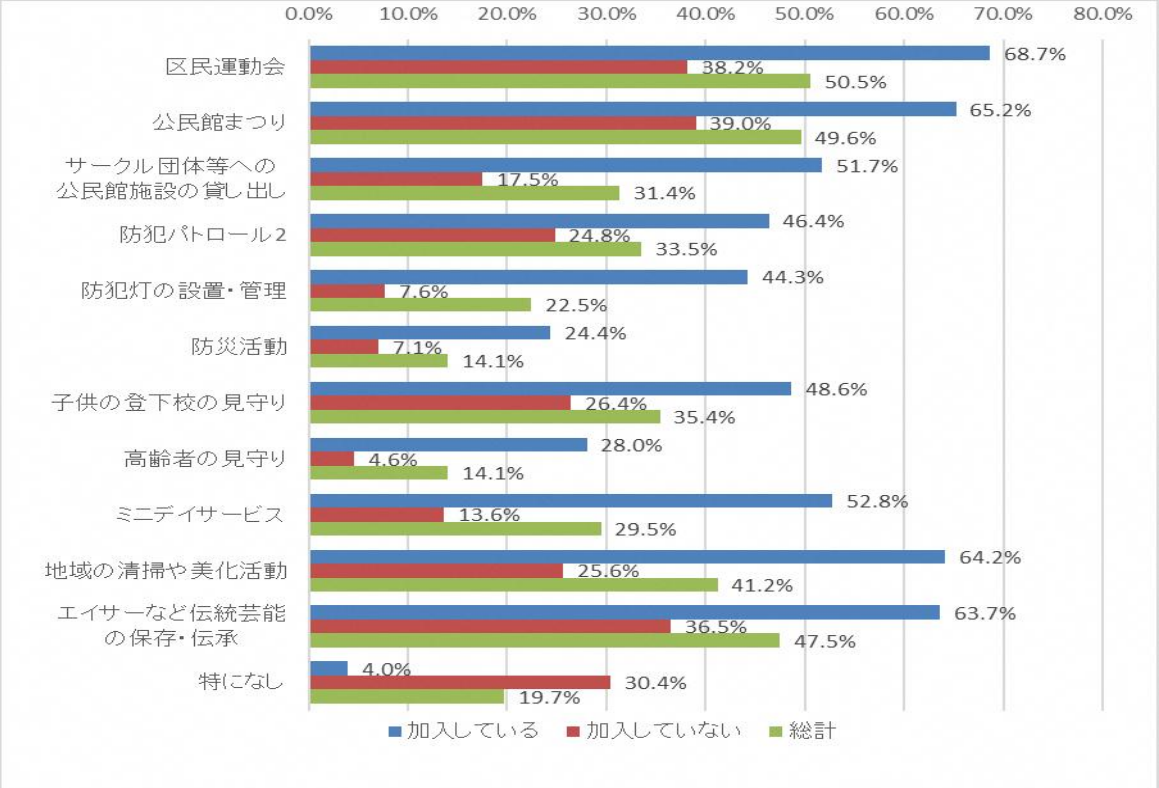


Q10　自治会の活動について知っていますか（複数回答可）

自治会の活動について、未加入者は総じて全ての取組に関する認知度が低く、特に「防犯灯の設置・管理」や「防災活動」、「高齢者の見守り」、に関しては、1割にも満たない。

また、加入者と未加入者の認知度の格差が特に大きい項目として、「サークル団体等への公民館施設の貸し出し」、「防犯灯の設置・管理」、「高齢者の見守り」、「ミニデイサービス」が挙げられる。

	実数			構成比		
	加入している	加入していない	総計	加入している	加入していない	総計
区民運動会	397	325	722	68.7%	38.2%	50.5%
公民館まつり	377	332	709	65.2%	39.0%	49.6%
サークル団体等への公民館施設の貸し出し	299	149	448	51.7%	17.5%	31.4%
防犯パトロール2	268	211	479	46.4%	24.8%	33.5%
防犯灯の設置・管理	256	65	321	44.3%	7.6%	22.5%
防災活動	141	60	201	24.4%	7.1%	14.1%
子供の登下校の見守り	281	225	506	48.6%	26.4%	35.4%
高齢者の見守り	162	39	201	28.0%	4.6%	14.1%
ミニデイサービス	305	116	421	52.8%	13.6%	29.5%
地域の清掃や美化活動	371	218	589	64.2%	25.6%	41.2%
エイサーなど伝統芸能の保存・伝承	368	311	679	63.7%	36.5%	47.5%
特になし	23	259	282	4.0%	30.4%	19.7%
その他	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数総計	578	851	1429	100.0%	100.0%	100.0%

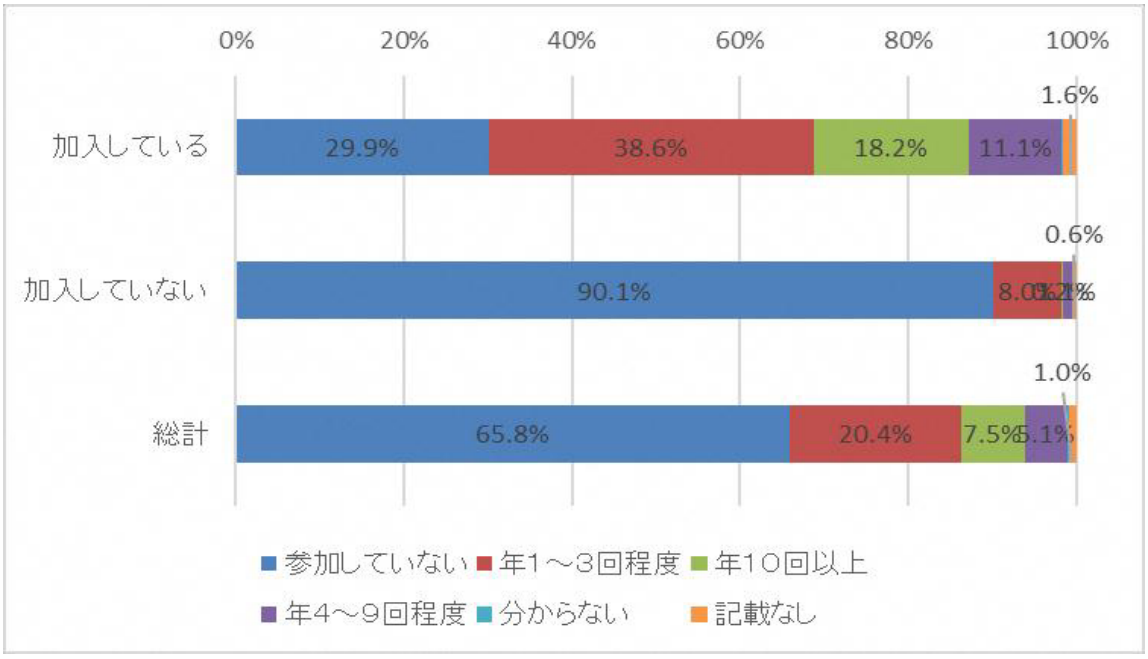


Q11　自治会活動にどのくらい参加しますか。

自治会未加入者の自治会活動の参加率は 1 割以下となっており、参加の頻度も年 1～3 回程度にとどまっている。

一方、自治会加入者は 7 割程度が参加しており、その頻度は年 1 回から 3 回程度が 4 割弱、年 10 回以上が 2 割弱となっている。参加頻度の 2 極化が特徴となっている。

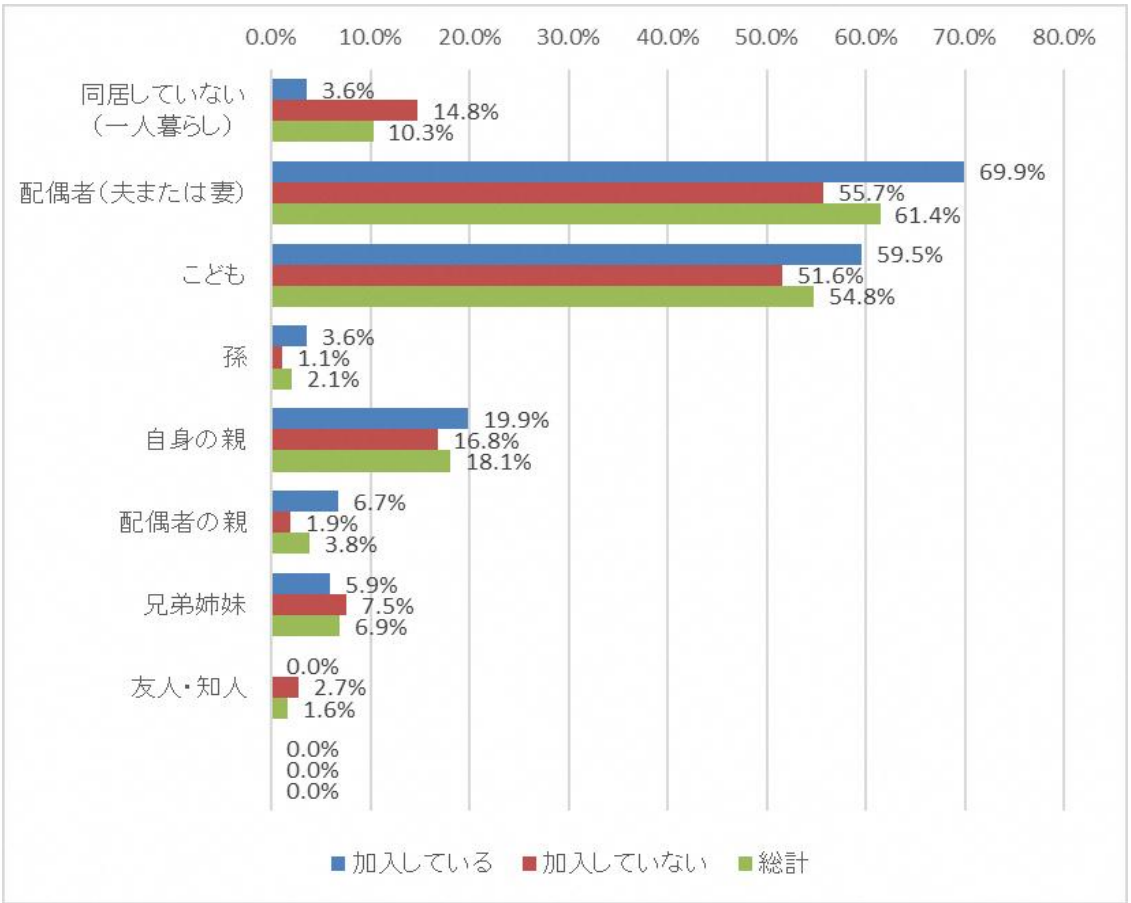
	実数			構成比		
	加入している	加入していない	総計	加入している	加入していない	総計
参加していない	173	767	940	29.9%	90.1%	65.8%
年1～3回程度	223	68	291	38.6%	8.0%	20.4%
年10回以上	105	2	107	18.2%	0.2%	7.5%
年4～9回程度	64	9	73	11.1%	1.1%	5.1%
分からない	1	0	1	0.2%	0.0%	0.1%
記載なし	9	5	14	1.6%	0.6%	1.0%
回答者総計	578	851	1429	100.0%	100.0%	100.0%



Q13　あなたと同居している人についてお聞かせください。

自治会未加入者の特徴として、「同居していない（一人暮らし）」世帯の割合が高く、一方、自治会加入者の約 7 割は「配偶者（夫または妻）」との同居世帯、また 6 割弱が「こども」との同居している世帯となっている。

	実数			構成比		
	加入している	加入していない	総計	加入している	加入していない	総計
同居していない（一人暮らし）	21	126	147	3.6%	14.8%	10.3%
配偶者（夫または妻）	404	474	878	69.9%	55.7%	61.4%
こども	344	439	783	59.5%	51.6%	54.8%
孫	21	9	30	3.6%	1.1%	2.1%
自身の親	115	143	258	19.9%	16.8%	18.1%
配偶者の親	39	16	55	6.7%	1.9%	3.8%
兄弟姉妹	34	64	98	5.9%	7.5%	6.9%
友人・知人	0	23	23	0.0%	2.7%	1.6%
その他	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数総計	578	851	1429	100.0%	100.0%	100.0%

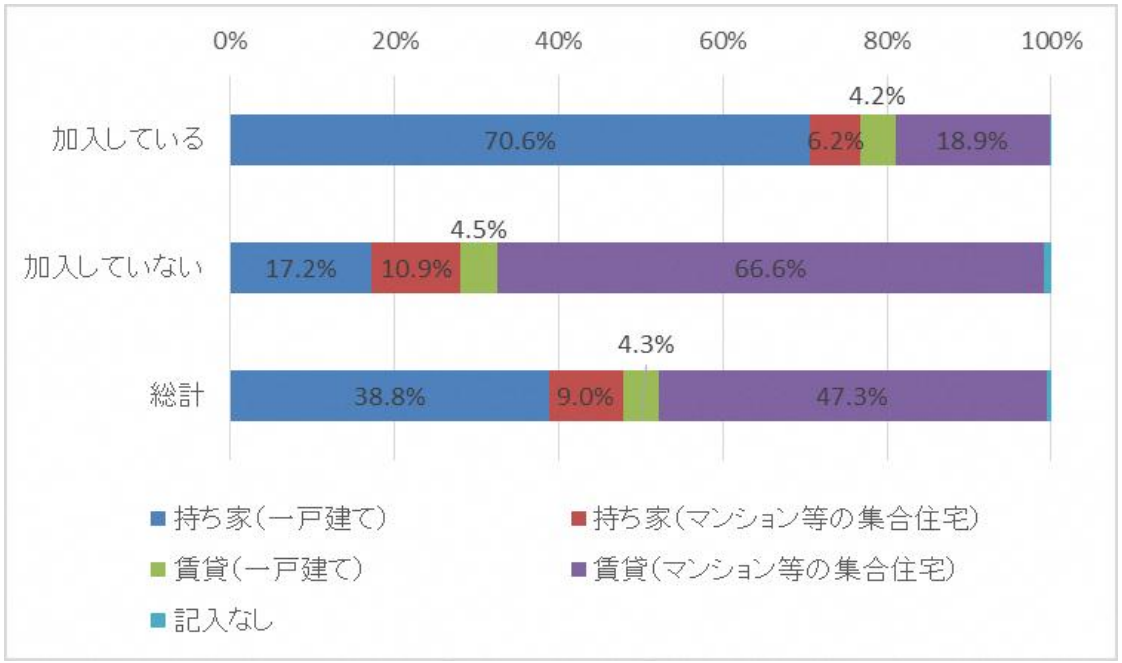


Q14　あなたの居住形態をお答えください。

自治会加入者の 8 割弱は、「持ち家（一戸建て）」、「持ち家（マンション等の集合住宅）」に居住している一方、未加入者の 7 割弱は「賃貸（一戸建て）」、「賃貸（マンション等の集合住宅）」となっている。

住宅の所有が自治会加入率に影響を与えていることが確認できる。

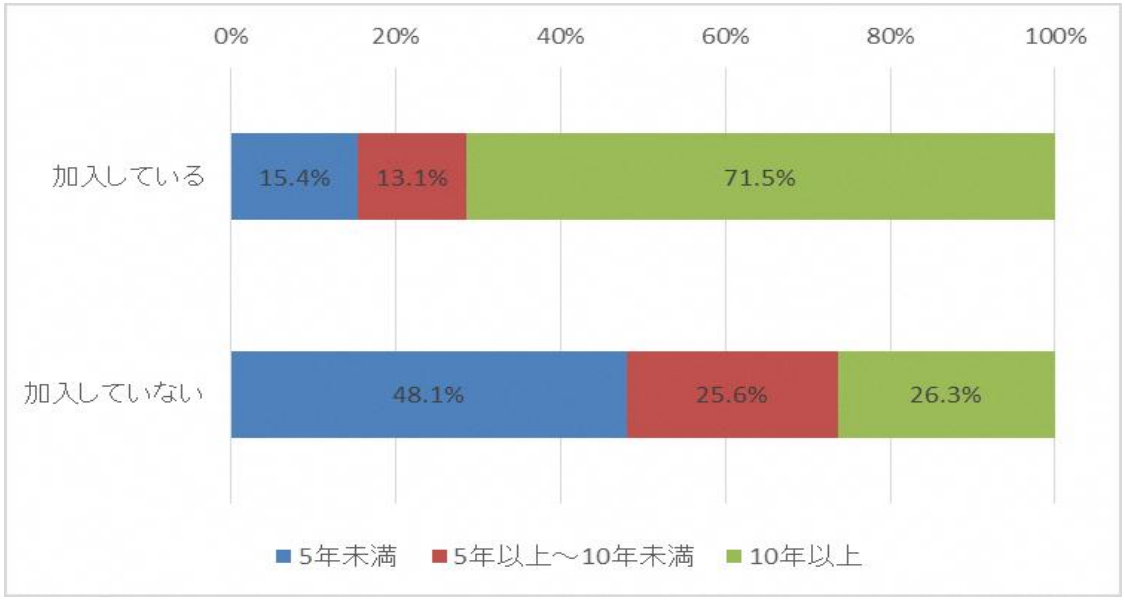
	実数			構成比		
	加入している	加入していない	総計	加入している	加入していない	総計
持ち家（一戸建て）	408	146	554	70.6%	17.2%	38.8%
持ち家（マンション等の集合住宅）	36	93	129	6.2%	10.9%	9.0%
賃貸（一戸建て）	24	38	62	4.2%	4.5%	4.3%
賃貸（マンション等の集合住宅）	109	567	676	18.9%	66.6%	47.3%
記入なし	1	7	8	0.2%	0.8%	0.6%
回答者数総計	578	851	1429	100.0%	100.0%	100.0%



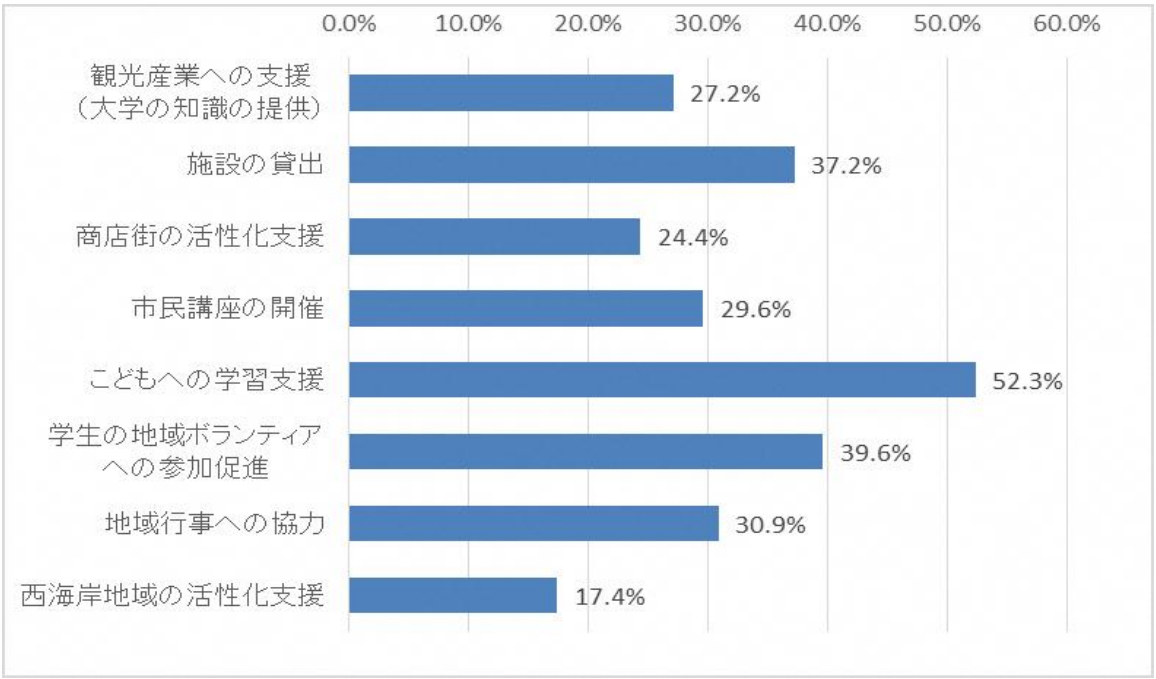
Q15　居住年数をお答えください。

居住年数が長いほど自治会へ「加入している」割合が高く、自治会加入者の 7 割は 10 年以上、その地域に居住している。一方、居住年数が 10 年以上であっても 25%以上の人が「加入していない」状況にある。

	実数			構成比		
	加入している	加入していない	総計	加入している	加入していない	総計
5年未満	89	409	498	15.4%	48.1%	34.8%
5年以上～10年未満	76	218	294	13.1%	25.6%	20.6%
10年以上	413	224	637	71.5%	26.3%	44.6%
回答者数総計	578	851	1429	100.0%	100.0%	100.0%



Q16　今後、沖縄国際大学に期待することはありますか。いくつでもお答えください。

市民全体では「こどもへの学習支援」への期待が大きく（52.3%）、次いで、「学生の地域ボランティアへの参加促進」（39.6%）、「地域行事への協力」（30.9%）となっている。ここでは示していないが、自治会加入者は自治会活動に直接的に関係する「学生の地域ボランティアへの参加促進」、「地域行事への協力」といった項目において大学に高い期待を寄せている。

	人	構成比
観光産業への支援（大学の知識の提供）	388	27.2%
施設の貸出	532	37.2%
商店街の活性化支援	348	24.4%
市民講座の開催	423	29.6%
こどもへの学習支援	748	52.3%
学生の地域ボランティアへの参加促進	566	39.6%
地域行事への協力	442	30.9%
西海岸地域の活性化支援	249	17.4%
その他	0	0.0%
回答者数総計	1429	100.0%